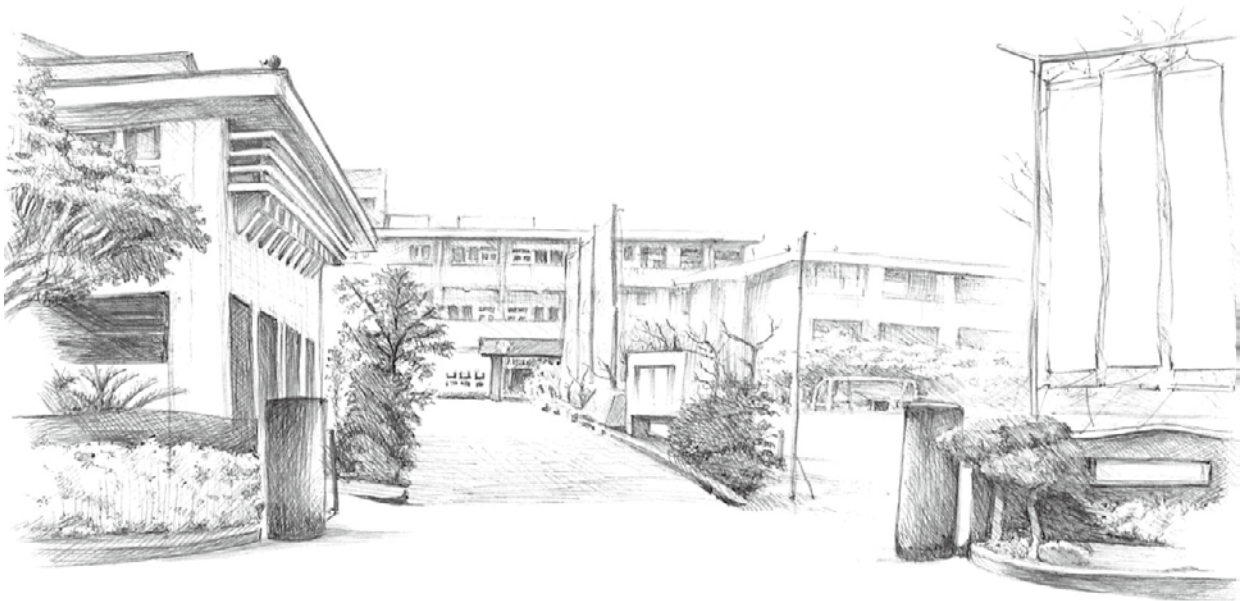


令和 5 年度

学 校 要 覧



沖縄県立 豊見城高等学校

〒901- 0201 豊見城市字真玉橋 217
TEL 098-850-5551
FAX 098-856-5715

豊見城高等学校校歌

作詞 芦 田 茂
作曲 大 城 政 信

♩ = 108 元気よく

こ く ば の か わ の は て し な く な が
れ て と お く ゆ - く - と こ ろ
こ こ ろ を み が き み を き た え
し ん り を た ず ね わ こ う ど の み ら
い を ひ ら く し る べ な れ と み
し ろ こ う こ う は え あ る ぼ こ う

一

国場の川の果てしなく
流れてとおく行くところ
心をみがき身を鍛え
真理をたずね若人の
未来をひらく標なれ
豊見城高校栄ある母校

二

緑の岡にいだかれて
白くそびゆる学び舎よ
ここに三年の春や秋
ひとみ輝く若人の
理想をめざす校旗の下
豊見城高校幸あれ母校

三

その名もゆかし真玉橋
歴史の跡を偲びつつ
希望あふれる友愛の
心豊かな若人の
意気高らかに羽ばたかん
豊見城高校われらが母校

目 次

校歌

校訓

1	学校概要	1
	(1)所在地	1
	(2)校地面積	1
	(3)職員数	1
	(4)校舎教室配置図	2
2	学校経営方針	3
3	学校沿革	6
4	各学年会・各部・各教科努力目標	11
5	職員一覧表	14
6	校務分掌	15
	(1)校務分掌組織図	15
	(2)学級担任及び副担任	16
	(3)事務分掌表	16
	(4)部活動顧問表	19
	(5)各種委員会	20
7	教育相談	22
8	生徒指導	22
9	進路指導	24
10	校時表	29
11	使用教科書	29
12	教育課程表	31
13	生徒実態調査	34
	(1)各H R 在籍数	34
	(2)現住所別生徒数	34
	(3)通学方法別生徒数	34
	(4)出身中学別生徒数	35
14	学校保健計画・学校安全計画	36
15	校内救急体制	38
16	防災計画	39
17	防災組織	41
18	火気取締責任者	42
19	避難経路図	43
20	学校行事年間計画表	45

校訓



1 学 校 概 要

(1) 所 在 地 〒901-0201 豊見城市字真玉橋 217 番地

(2) 校地面積 37,021m²

①校舎敷地 16,898m²

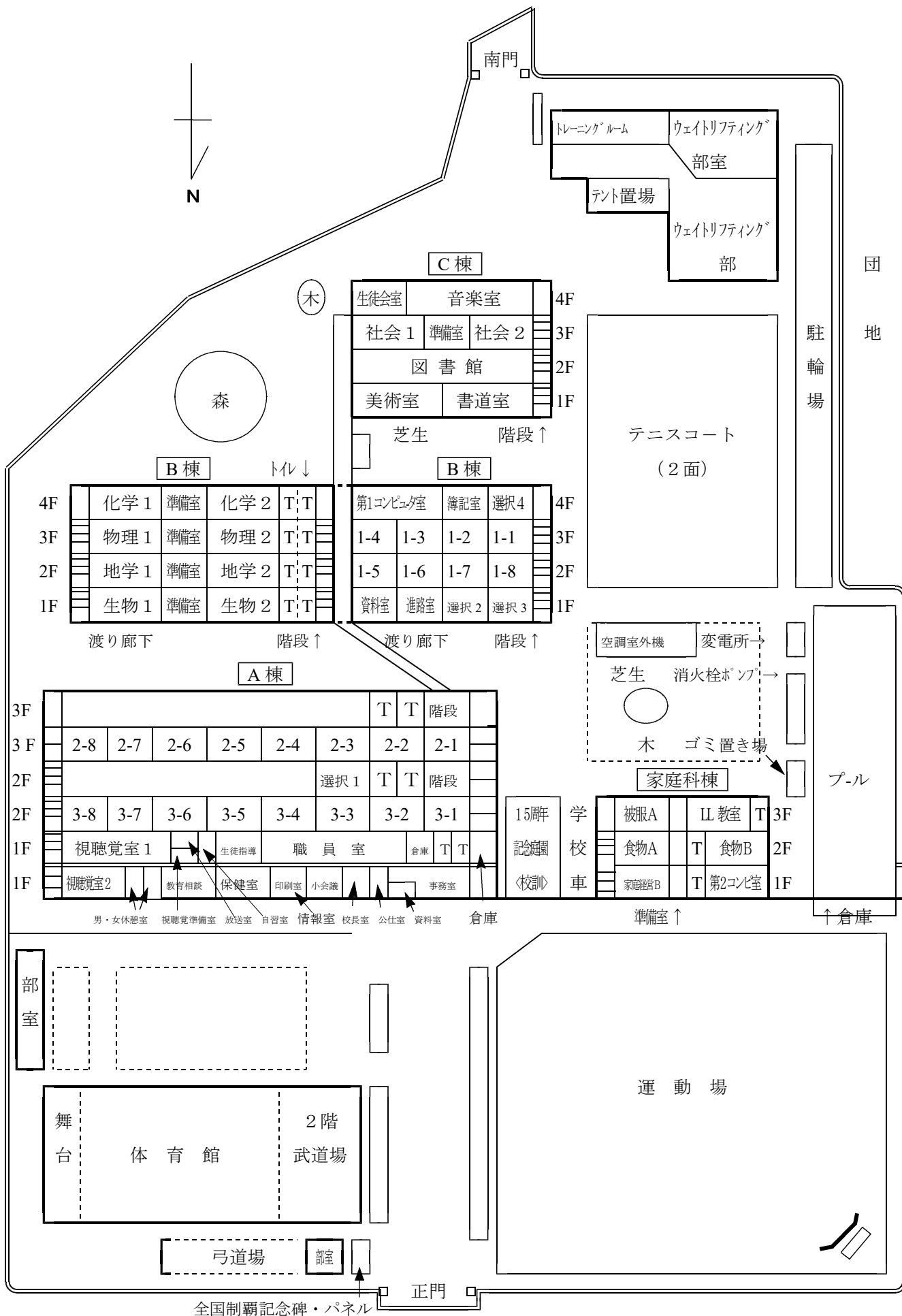
②学校建物面積 12,209m² (教室等 10,256 体育館 1,953)

③運動場敷地 20,123m²

(3) 職 員 数

	校 長	教 頭	事 務 長	教 諭	養 護 教 諭	実 習 助 手	事 務	就 学 支 援 金 補 助 員	司 書	用 務 員	講 師	A L T	ス ク ー ル カ ウ ン セ ー ラ	就 職 支 援 員	P T A 事 務	計	校 医 等	総 計
男	1	1		31		1	3			1	2		1			41	4	45
女		1	1	22	2	1	1	1	1	1	1	1		1	2	36	0	36
計	1	2	1	53	2	2	4	1	1	2	3	1	1	1	2	77	4	81

(4) 令和5年度 校舎・教室配置図



学 校 経 営 方 針

(1)教育目標

憲法及び教育基本法並びに本県教育目標に基づき、校訓「礼儀」「明朗」「進取」「誠実」が象徴する伝統を継承し、民主社会の形成者にふさわしい確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を備えた人材の育成を目指す。

(2)育てたい生徒像

- ① 自ら日常生活を点検し、改善できる生徒
- ② 主体的・協働的に学ぶ力を持つ生徒
- ③ 未来につながる自分と仲間を大切にする生徒

(3)学校経営目標

- ① 生徒一人一人を大切にする教育のプロとして、生徒の成長に意欲的に関わり、生徒・保護者と向かい合い、校訓の具現化と教育目標の達成を図る。
- ② 規則正しい規律ある学校生活を通して、知・徳・体を育成し、本県の明日を切りひらく積極性と強い意志力を持った有為な人材を育成する。
- ③ 学校職員組織の報告・連絡・相談体制を確立し、常に課題意識を持ち、チームとして課題の解決を図るとともに、学校・家庭・地域等連携の下、開かれた学校づくりと教育環境の整備に努める。

(4)本年度の努力目標

- ① 学校運営組織の充実
 - ア. 管理者、スタッフ会、部会・学年会の有機的な連携による組織体制の確立及び学校運営を図る。
 - イ. 全職員による協働体制の確立と組織力の向上並びに学校業務の円滑な運営と適正化を図る。
- ② 生徒の学力向上の推進
 - ア. I C Tを活用した学びの個別最適化による学習支援・学力向上を図る。
 - イ. 新学習指導要領の特色を踏まえた授業改善及び「観点別学習状況の評価」の充実発展を図る。
- ③ 生徒指導の充実強化
 - ア. 勤怠・あいさつ・言葉づかい等の基本的生活習慣（「時を守り，場を清め，礼を正す」）の充実を図る。
 - イ. 問題行動の入口である深夜徘徊の根絶と命を守る交通安全教育の徹底を図る。
- ④ 進路指導の充実強化
 - ア. 3年間の計画的な進路指導を行い、進路目標の早期決定と進路実現を支援する。

- イ. 入試改革に対応した効果的な進学指導を図るとともに、進路決定率の向上を目指す。
- ⑤ キャリア教育の充実
- ア. 「総合的な探究の時間」の充実強化と「キャリアパスポート」の活用を図る。
- イ. 学校教育活動全体を通してキャリア発達を促す教育実践に努める。
- ⑥ 生徒支援の充実
- ア. 保健相談・健康指導の充実及び食育研修の推進に努める。
- イ. 担任・学年団・教育相談係が一体となった教育相談体制を推進するとともに、保護者・関係機関との連携を図る。
- ⑦ 安心安全な教育環境の整備
- ア. 防災教育の実践並びに生徒・職員のリスク管理・危機管理の徹底を図る。
- イ. 教育環境及び学校施設・設備の保安全管理・安全点検の実施の徹底を図る。
- ⑧ 特色ある学校づくりの取組強化
- ア. 「特進コース」の特色の明確化と進学指導の強化及び普通コースの充実発展を目指す。
- イ. 地域の期待と実態に応えたコース制及び教育課程の発展的改善の研究を図る。
- ⑨ 生徒・職員の資質能力の向上
- ア. 生徒の各種コンテスト、大会、研修事業への積極的な参加及び講演会・教室等の実施に努める。
- イ. 校内外研修及び研究授業並びに各種研究事業への積極的な参加を促進し、職員の資質向上に努める。
- ⑩ 服務規律の遵守と働き方改革の推進
- ア. 生徒・保護者・地域及び同僚の信頼に応えた服務規律の遵守と「暴力・暴言・ハラスメント『ゼロ』」を実現する。
- イ. 業務の精選・効率化、時間外勤務の縮減、働きやすい職場づくり等への取組を図る。
- ⑪ 地域・保護者に開かれた学校づくり
- ア. P T A、同窓会、後援会、地域との連携を深め、信頼される学校づくりに努める。
- イ. 学校の教育活動の積極的な発信に努め、中学校、保護者、地域からの理解と連携を目指す。

(5) 沖縄県立豊見城高等学校スクールポリシー

教育目標

憲法及び教育基本法並びに本県教育目標に基づき、校訓「礼儀」「明朗」「進取」「誠実」が象徴する伝統を継承し、民主社会の形成者にふさわしい確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を備えた人材の育成を目指す。

育てたい生徒像

- ① 自ら日常生活を点検し、改善できる生徒
- ② 主体的・協働的に学ぶ力を持つ生徒
- ③ 未来につながる自分と仲間を大切にする生徒

I 生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）

「とみしろ∞無限大」

- ① と：共に関わる力の育成＝「人間関係形成・社会形成能力」
- ② み：見つめ直す力の育成＝「自己理解・自己管理能力」
- ③ し：信念を持ってやりぬく力の育成＝「課題対応能力」
- ④ ろ：ロングビジョン力の育成＝「キャリアプランニング能力」

II 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた、「生きる力」を育む教育課程を編成します。
- ② 多様化した生徒の能力・進路・適性を伸ばすことを目指し、選択制を取り入れます。
- ③ 豊見城高校が目指す教育目標と特色ある学校づくりを推進するため、各コースの特色や育てたい生徒像に沿った教育課程を編成します。

III 生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 中学校までの修得すべき基礎学力と基本的生活習慣を身につけている生徒
- ② 本校のコース制の特色を理解し、教育活動全般を通して、自らの進路目標を定め実現に向けて行動できる生徒
- ③ 部活動や生徒会活動、学級活動に主体的・積極的に参加し、他者を尊重しつつ、自己の向上に邁進できる生徒

3 学校沿革

(1) 学科別・性別・年度別卒業生

期	年 度	家政	普通		小計		合計	累計
		女	男	女	男	女		
1	1968 :S43	107	314	181	314	288	602	602
2	1969 :S44	95	312	183	312	278	590	1,192
3	1970 :S45	91	297	190	297	281	578	1,770
4	1971 :S46	89	277	186	277	275	552	2,322
5	1972 :S47	92	251	206	251	298	549	2,871
6	1973 :S48	83	223	202	223	285	508	3,379
7	1974 :S49	74	214	215	214	289	503	3,882
8	1975 :S50	58	237	230	237	288	525	4,407
9	1976 :S51	54	229	209	229	263	492	4,899
10	1977 :S52	82	231	214	231	296	527	5,426
11	1978 :S53	78	228	216	228	294	522	5,948
12	1979 :S54	81	220	234	220	315	535	6,483
13	1980 :S55	81	199	249	199	330	529	7,012
14	1981 :S56	76	209	236	209	312	521	7,533
15	1982 :S57	86	205	240	205	326	531	8,064
16	1983 :S58	71	167	174	167	245	412	8,476
17	1984 :S59	72	172	182	172	254	426	8,902
18	1985 :S60	84	169	228	169	312	481	9,383
19	1986 :S61	63	175	216	175	279	454	9,837
20	1987 :S62	73	180	182	180	255	435	10,272
21	1988 :S63	82	154	206	154	288	442	10,714
22	1989 :H1	69	167	180	167	249	416	11,130
23	1990 :H2	83	204	192	204	275	479	11,609
24	1991 :H3	64	183	199	183	263	446	12,055
25	1992 :H4	76	180	177	180	253	433	12,488
26	1993 :H5	75	181	195	181	270	451	12,939
27	1994 :H6	37	175	182	175	219	394	13,333
28	1995 :H7	38	173	203	173	241	414	13,747
29	1996 :H8		169	214	169	214	383	14,130
30	1997 :H9		191	194	191	194	385	14,515
31	1998 :H10		166	208	166	208	374	14,889
32	1999 :H11		144	191	144	191	335	15,224
33	2000 :H12		152	194	152	194	346	15,570
34	2001 :H13		169	196	169	196	365	15,935
35	2002 :H14		164	173	164	173	337	16,272
36	2003 :H15		176	183	176	183	359	16,631
37	2004 :H16		181	183	181	183	364	16,995
38	2005 :H17		155	186	155	186	341	17,336
39	2006 :H18		179	157	179	157	336	17,672
40	2007 :H19		167	130	167	130	297	17,969
41	2008 :H20		157	135	157	135	292	18,261
42	2009 :H21		159	143	159	143	302	18,563
43	2010 :H22		152	125	152	125	277	18,840
44	2011 :H23		162	142	162	142	304	19,144
45	2012 :H24		169	125	169	125	294	19,438
46	2013 :H25		161	128	161	128	289	19,727
47	2014 :H26		186	115	186	115	301	20,028
48	2015 :H27		170	139	170	139	309	20,337
49	2016 :H28		155	157	155	157	312	20,649
50	2017 :H29		185	123	185	123	308	20,957
51	2018 :H30		184	118	184	118	302	21,259
52	2019 :R1		172	132	172	132	304	21,563
53	2020 :R2		177	133	177	133	310	21,873
54	2021 :R3		173	129	173	129	302	22,175
55	2022 :R4		159	148	159	148	307	22,482
合 計		2,114	10,460	9,908	10,460	12,022	22,482	

(2) 学校沿革概要

年度	月 日	主 要 事 項
1965 (S40)	6. 24 9. 25 2. 1 22	豊見城高等学校(仮称)設立促進期成会設置 琉球政府中央教育委員会で認可 初代校長 砂川 玄隆 初代教頭 新垣博 発令 校章制定
1966 (S41)	4. 13 7. 20 8. 10	開校式及び第1回入学式(普通科：540名 家政科：108名)举行 PTA設立総会 校旗贈呈並びに樹立式(砂川初代校長寄贈) 女生徒制服制定
1967 (S42)	4. 6	第2回入学式(普通科：520名 家政科：104名)
1968 (S43)	7. 18 10. 6 2. 22 3. 1	運動場完成記念式典举行 第1回体育祭 校歌制定・校歌発表会、豊見城祭 第1回卒業式(卒業生602名)
1969 (S44)	10. 1 12. 3	第2代校長 西平 秀毅 発令 図書館竣工
1970 (S45)	2. 28	図書館落成式典举行
1972 (S47)	4. 1 5. 15	第3代校長 玉城 啓佐 発令 本土復帰により沖縄県立豊見城高等学校となる
1973 (S48)	4. 1	第4代校長 福地 蔡勇 発令
1974 (S49)	7. 22 3. 28	全国高校総合体育大会 弓道競技 男子団体優勝 第47回全国高等学校選抜野球大会出場
1975 (S50)	4. 1 3. 27	第5代校長 玉城 深二郎 発令 第48回全国高等学校選抜野球大会出場
1976 (S51)	7. 23 8. 9 3. 27	九州高校弓道大会で男子団体優勝 第58回全国高等学校野球選手権大会出場 第49回全国高等学校選抜野球大会出場
1977 (S52)	8. 8 3. 27	第59回全国高等学校野球選手権大会 第50回全国高等学校選抜野球大会出場
1978 (S53)	4. 1 8. 7	第6代校長 世嘉良 栄 発令 第60回全国高等学校野球選手権大会
1980 (S55)	12. 2 12. 24 1. 25 3. 1	豊見城南高校の新設に伴い、昭和56年度より普通科の2学級減となる 新館(A棟)竣工 創立15周年記念庭園完成 創立15周年記念式典並びに新館落成式典及び祝賀会举行
1982 (S57)	4. 1 6. 3	第7代校長 与那覇 哲夫 発令 NHK杯全国高校放送コンテスト テレビ部門 最優秀賞
1985 (S60)	4. 1 3. 24	第8代校長 伊良波 史夫 発令 図書館新築工事竣工
1986 (S61)	11. 21	創立20周年記念式典
1988 (S63)	4. 1	第9代校長 砂川 宏 発令
1990 (H 2)	11. 19	第4回ホームプロジェクト全国大会 最優秀賞
1991 (H 3)	4. 1	第10代校長 上原 康正 発令
1992 (H 4)	4. 27 11. 20	B棟改築竣工 C棟改築竣工
1994 (H 6)	4. 1 2. 23	第11代校長 富原 守哉 発令 研究指定校「中途退学対策」研究発表会

1997 (H 9)	4. 1	第12代校長 瀬名波 栄啓 発令
1999 (H11)	8. 1 2. 15	全国高校総合文化祭 囲碁部門 団体優勝 体育館工事竣工
2000 (H12)	4. 1 3. 28	第13代校長 仲嶺 真太郎 発令 全国高校ウェイトリフティング選抜大会 優勝男子 69kg級
2002 (H14)	4. 1 8. 2	第14代校長 平良 實 久米島高等学校より着任 全国高校総合体育大会 ウェイトリフティング競技 男子団体 優勝
2003 (H15)	8. 1 3. 13 27	全国高校総合体育大会 ウェイトリフティング競技 団体総合優勝(2連覇) 優勝 男子 53kg級 62kg級 全日本ジュニアウェイトリフティング競技選手権大会 優勝 男子62kg級 全国高校ウェイトリフティング競技選抜大会 男子優勝85kg級 女子優勝53kg級 75kg級
2004 (H16)	4. 1 8. 6 3. 26 27	第15代校長 当真 功 泊高校より着任 全国高校総合体育大会 ウェイトリフティング競技 優勝 85kg級 全日本ジュニアウェイトリフティング選手権大会 優勝 75kg級 全国高校選抜ウェイトリフティング大会 優勝 56kg級 53kg級
2005 (H17)	8. 25 11. 12 26	日韓中ジュニア交流ウェイトリフティング大会 女子優勝58kg級 3位63kg級 本校同窓生による講話授業「豊翔塾」(第1回) 創立40周年記念式典
2006 (H18)	4. 1	第16代校長 神村 孝司 北山高校より着任
2007 (H19)	3. 24 7. 14 8. 6 3. 28	全国高校ウェイトリフティング競技選抜大会 男子優勝62kg級 女子優勝75kg級 全国高校女子ウェイトリフティング競技選手権大会 団体女子2位 個人優勝48kg級 75kg級 全国高校総合体育大会 剣道競技 女子 優秀選手賞 全国高校選抜ウェイトリフティング大会 男子優勝 56kg級 62kg級 69kg級 女子優勝 63kg級 75kg級
2008 (H20)	4. 1 7. 20 8. 6 26 12. 3	第17代校長 大城 清 豊見城南高校より着任 全国高校女子ウェイトリフティング競技選手権大会 団体2位 個人優勝75kg超級 2位63kg級 3位69kg級 全国高校総合体育大会 ウェイトリフティング競技 学校対抗優勝 個人優勝56kg級 62kg級 69kg級 日韓中ジュニア交流ウェイトリフティング大会 優勝75kg級 2位56kg級 69kg級 3位63kg級 ウェイトリフティングアジアユース選手権大会 優勝56kg級
2009 (H21)	5. 23 6. 15 8. 1 11. 20	第1回世界ユース大会 女子ウェイトリフティング63kg級 12位 神谷 歩 09世界ジュニア選手権 銅メダル 56kg級 糸数陽一 全国高校総合体育大会ウェイトリフティング競技 団体5位 個人優勝 62kg級 準優勝 85kg級 2009 世界選手権大会 11位 56kg級 糸数陽一
2010 (H22)	4. 1 7. 24 8. 11 22 11. 21 12. 14	第18代校長 儀間 清隆 那覇国際高校より着任 全国高校女子ウェイトリフティング競技選手権大会 学校対抗戦優勝 個人1位 75kg級 第1回ユースオリンピック 日本代表 七戸美空(+63kg級) 12位 日韓中ジュニア交流ウェイトリフティング大会 日本代表 金城絵里香(+75kg級) 4位 レディースカップ 全日本女子ウェイトリフティング選手権大会 団体戦 優勝 2冠達成 重量挙げ女子選抜 優勝 75kg級 48kg級 2位 53kg級 平成21. 22. 23年度文部科学省・県教育委員会研究指定校 体育・スポーツ推進校中間発表
2011 (H23)	5. 25 7. 23 9. 12 11. 17 12. 8 1. 14 25	第25回全日本女子ウェイトリフティング選手権大会 3位 48kg級 +75kg級 全国高校女子ウェイトリフティング競技選手権大会 優勝+75kg級 準優勝 48kg級 69kg級 4位 75kg級 第18回アジアジュニア女子選手権大会 4位+75kg級 金城絵里香 レディースカップ 全日本女子選抜ウェイトリフティング選手権大会 団体戦 優勝(2連覇) 個人戦 優勝 69kg級 +75kg級 2位 48kg級 4位 75kg級 平成21. 22. 23年度文部科学省・県教育委員会研究指定校 体育・スポーツ推進校最終発表 全九州高校ウェイトリフティング競技選抜大会 女子 優勝 69kg級 75kg級 第32回全日本ジュニアウェイトリフティング大会 105kg超級 2位 知念光亮
2012 (H24)	4. 1 7. 20 8. 2 10. 25 11. 21 2. 1 8 3. 24	第19代校長 與那嶺 善道 県教育庁県立学校教育課より着任 全国高校女子ウェイトリフティング競技選手権大会 学校対抗戦 準優勝 個人 優勝75kg級 2位69kg級 全国高校総合体育大会 ウェイトリフティング競技 優勝 +105kg級 知念光亮(日本高校新記録) 弓道競技 女子個人準優勝 金城未来 文科省日本体育研究連合会全国学校体育優良校 レディースカップ 全日本女子選抜ウェイトリフティング選手権大会 個人戦優勝 69kg級 阿部美月 ホルベイン主催 第4回「高校生の油絵アートコンテスト」(団体部門・学校賞) JOCジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニアウェイトリフティング選手権大会 女子 優勝 69kg級 阿部美月 男子 優勝 +105kg級 知念光亮 全国高校ウェイトリフティング競技選抜大会 男子 優勝 53kg級 知念勇斗 77kg級 仲西弘一 +105kg級 知念光亮

2013 (H25)	8. 3 10. 5 11. 21 12. 21 3. 14 25	全国高校総合体育大会 ウェイトリフティング 競技 学校対抗戦 優勝 (5年ぶり4度目) 個人優勝 53kg級 知念勇斗 77kg級 仲西弘一 2位+105kg級 知念光亮 国民体育大会 ウェイトリフティング 競技 少年優勝 53kg級 知念勇斗(選抜・総体・国体3冠) レディースカップ 全日本女子選抜ウェイトリフティング選手権大会 団体戦 優勝(2年ぶり3度目) 全国高校弓道選抜大会 女子団体3位 比嘉スター星乃 武島麗海 渡嘉敷せれな 金城琴乃 JOCジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニアウェイトリフティング選手権大会 優勝+105kg級 知念光亮 全国高校ウェイトリフティング 競技選抜大会 男子 優勝56kg級 知念勇斗 3位69kg級 平仲康太郎
2014 (H26)	4. 1 7. 18 8. 2 11. 20 1. 1 14	第20代校長 長濱 雅仁 県教育庁保健体育課より着任 全国高校女子ウェイトリフティング 競技選手権大会 学校対抗戦 優勝(3年ぶり3度目) 個人優勝58kg級 新垣愛恵 全国高校総合体育大会 ウェイトリフティング 競技 学校対抗(団体)3位 レディースカップ 全日本女子選抜ウェイトリフティング選手権大会 団体4位 個人優勝58kg級 新垣愛恵 4位53kg級 當間星香 アジアジュニアウェイトリフティング選手権大会 男子6位56kg級 知念勇斗 JOCジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニアウェイトリフティング選手権大会 男子優勝56kg級 知念勇斗 女子2位58kg級 新垣愛恵
2015 (H27)	11. 15 25	創立50周年記念式典・講演会(北島康介氏来校) 全国高校ウェイトリフティング 競技選抜大会 優勝69kg級 大城良太
2016 (H28)	4. 1 7. 17 9. 27 11. 12 1. 21	第21代校長 津留 一郎 県立那覇高等学校より着任 全国高校女子ウェイトリフティング 競技選手権大会 2位58kg級 具志堅莉奈 国民体育大会 ウェイトリフティング 競技 少年62kg級優勝 大城良太 アジアユースウェイトリフティング選手権大会〈女子〉優勝58kg級 具志堅莉奈 全九州高校ウェイトリフティング 競技選抜大会〈女子〉優勝58kg級 具志堅莉奈 69kg級 大山未来
2017 (H29)	6. 18 11. 22 1. 14 9	全九州高等学校ウェイトリフティング選手権大会〈女子〉(佐賀県) 優勝 58kg級 具志堅莉奈 69kg級 大山未来 レディースカップ 第9回全日本女子選抜ウェイトリフティング選手権大会 58kg級 2位 具志堅莉奈 第26回全九州高等学校ウェイトリフティング 競技選抜大会(沖縄県) 男子+105kg級優勝 藏下佳樹 全日本ジュニアウェイトリフティング選手権大会(埼玉県) 女子58kg級 優勝 具志堅莉奈
2018 (H30)	4. 1 11. 21 1. 12 3. 22 3. 24	第22代校長 本原 泉 県立浦添商業高等学校より着任 第10回全日本女子選抜ウェイトリフティング選手権大会(茨城県) 75kg級 8位 長橋恵美里(2-2) 第27回全九州高等学校ウェイトリフティング 競技選抜大会(沖縄県) 〈男子団体〉準優勝 〈男子個人〉61kg級優勝 砂川裕哉 81kg級優勝 石原大翔 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会〈男子〉Aパート4位 第34回全国高等学校ウェイトリフティング 競技選手権大会 〈男子個人〉61kg級4位 砂川裕哉 〈女子個人〉76kg級4位 長橋恵美里
2019 (H31) (R1)	6. 15 12. 24 1. 11	九州高等学校総合体育大会バスケットボール競技〈男子〉3位 第21回全国高等学校女子ウェイトリフティング 競技大会76kg級 7位 長橋恵美里(3年) 第95回天皇杯・第86回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会〈男子〉優勝 ウインターカップ2019 第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会 出場 第28回全九州高等学校ウェイトリフティング 競技選抜大会(佐賀県) 〈女子個人〉55kg級優勝 與那嶺莉乃(1年)
2020 (R2)	7. 18 31 9. 12 10. 18 11. 1 8 13 15 13 20 1. 16	県高校総体～26日 バスケットボール男子優勝 ホクシンクライトフライ級優勝 與那嶺翔(2年) ウェイトリフティング 男子 55kg2位 我喜屋航 女子 55kg優勝 與那嶺莉乃(2年) 全国高等学校総合文化祭弁論の部(高知県WEB開催)文化連盟賞 前田瑞希(3年) 県国際交流人材育成財団主催 国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール県大会 理事長賞(1位)1年2組 名嘉村真乃 全国大会書類審査エントリー 第63回全沖縄高校バスケットボール選手権大会 男子優勝 県高校新人体育大会 ウェイトリフティング 競技 女子55kg優勝 與那嶺莉乃(2年) 弓道競技 男子優勝 ホクシンク 競技 学校対抗2位 ライトフライ級優勝 與那嶺翔(2年) ミドル級優勝 嘉数琉生(2年) 県高校文化祭 放送朗読部門 優秀賞 玉代勢仁菜(1年) 全国大会出場 第34回海邦国体記念ウェイトリフティング選手権大会全国選抜選考会 第39回全国高校弓道選抜大会県予選 男子団体2位 第34回海邦国体記念ウェイトリフティング選手権大会全国選抜選考会 女子59kg級優勝 與那嶺莉乃(2年) 男子73kg級2位 宮城大(3年) ウインターカップ 第72回全国高校バスケットボール選手権大会対北陸学院高校(石川県)勝利2回戦進出 第29回全九州高校ウェイトリフティング 競技選抜大会 55kg級2位 與那嶺莉乃(2年)
2021 (R3)	4. 1 5. 29	第23代校長 津野 良信 県立宮古高等学校より着任 県高校総合体育大会～6/1 男子バスケットボール優勝(3連覇)インターハイ出場 ホクシンク 競技 ライトフライ級優勝 與那嶺翔(3年)九州総体・インターハイ出場

		ウェイトリフティング 競技 女子 59kg 2 位 與那嶺莉乃(3年)九州総体出場 とみ高祭代替行事(コロナ禍影響で実施できず)コスプレサミット2021を実施 19 第45回県高等学校総合文化祭弁論部門 最優秀賞 二瓶花菜(2年) 24 県高校新人体育大会 水泳競技50m背泳ぎ優勝100m背泳ぎ2位 垣花かれん(2年) 11. 2 第43回九州高校放送コンテスト県大会 朗読部門 優秀賞 玉代勢仁菜(2年)九州大会出場 優良賞 赤嶺春介(1年) アナウンス部門 優良賞 二瓶花菜(2年) 7 県高校新人体育大会 ウェイトリフティング 競技 男子67kg2位 佐久川優(2年) 11 全九州高校総合文化祭長崎大会弁論部門 最優秀賞 二瓶花菜(2年) 29 ボクシング 県高校選手権大会 バンタム級優勝與那嶺翔(3年) 2. 20 第40回小橋川寛杯高校生バスケットボール選手権大会 男子優勝
2022 (R4)	5. 28 県高校総合体育大会～5/31 男子バスケットボール準優勝 九州大会出場 ウエイトリフティング 学校対抗戦 4 位 男子67kg級 2位 佐久川優(3-7) 55kg級 3 位 島袋広夢(2-5) 31 男子バスケットボール決勝リーグ 午後全校応援(対 美来工科) 6. 8 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト沖縄県大会 朗読部門 優秀賞 玉代勢仁菜(3-6) 全国派遣 アナウンス部門 優良賞 二瓶花菜(3-1) 14 第39回沖縄県商業高等学校英語スピーチコンテスト(レシテーションの部) 最優秀賞 知念勇吏(2-5) 全国大会派遣 18 全九州高等学校体育大会 第75全九州高等学校バスケットボール競技大会 男子バスケットボール部出場(宮崎県) 24 生徒会長選挙 立候補者演説会・投票 第56代生徒会長 真栄田海人(2-2) 7. 15 全九州高等学校体育大会 第70回全九州高等学校水泳(競泳)競技大会 出場 垣花かれん(3-1) 郡 亜実(1-6) 8. 1 第46回高等学校総合文化祭弁論部門 ・第68回文部科学大臣旗全国高等学校弁論大会 出場 二瓶花菜(3-1) 10 全国日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2022 出場 玉城結衣(3-2) 15 第46回沖縄県高等学校総合文化祭大会標語審査 最優秀賞 伊良部仁菜(3-2) 9. 18 第46回沖縄県高等学校文化連盟囲碁将棋秋季大会 男子個人戦 3位 石垣秀隆(2-1) 九州大会派遣 10. 7 第4回とみ高パフォーマンス大会(～8日)(入場制限:生徒1名につき保護者1名) 23 第65回全沖縄高校バスケットボール選手権大会兼第75回全国高校バスケットボール選手 権大会沖縄県予選 ウィンターカップ2022沖縄県予選(沖縄アリーナ) 男子バスケットボール部 71-62(対:美来工科) 優勝 29 沖縄県高等学校新人体育大会 ウエイトリフティング競技 67kg級 1 位 仲本亜門(2-4) 89kg級 3 位 政野泰都(2-2) 29 沖縄県高等学校新人体育大会 ソフトテニス競技 団体戦 伊禮正吾(1-3) 田久保成軌(1-3) 入賞(九州大会派遣) 11. 1 第46回沖縄県高等学校総合文化祭放送部門 第44回九州高校放送コンテスト ならびに校内放送活動研究集会沖縄県大会 アナウンス部門 優秀賞 名幸花菜(2-3) 九州大会派遣 ラジオ番組部門 優秀賞 上間真奈美(1-1) 古堅宗一郎(1-2) 中村彩夢 (2-2)九州大会派遣 朗読部門 優良賞 上間真奈美(1-1) 4 第46回沖縄県高等学校総合文化祭 大会標語 最優秀賞 伊良部仁菜(3-2) 9 第13回豊翔塾(5・6校時)講師:同窓生24名 16 沖縄県高等学校新人体育大会 バスケットボール競技 男子 2 位 12. 5 県外派遣推戴式(全国大会出場:男子バスケットボール部) (九州大会出場:水泳、ソフトテニス、放送、囲碁、ウエイトリフティング) 12. 9 芸術鑑賞会 出演:津軽三味線・邦楽ユニット あべや(1・2年34校時、3年56校時) 10 第6回全九州高等学校総合文化祭佐賀大会囲碁部門 第37回全九州高等学校囲碁選手権 佐賀大会 第17回全国高等学校囲碁選抜大会九州ブロック大会 出場 石垣秀隆(2-1) 11 第6回全九州高等学校総合文化祭佐賀大会第44回九州高校放送コンテスト ラジオ番組部門 優良賞 上間真奈美(1-1) 古堅宗一郎(1-2) 中村彩夢(2-2) アナウンス部門 出場 名幸花梨(2-8) 12 修学旅行(～16日)4泊5日 2年生183名・引率7名 山梨・神奈川・東京・千葉 12 第13回いっしょに読もう!新聞コンクール(日本新聞協会主催) 学校奨励賞 県NIE推進協議会会長賞 大城乃愛(3-2) 県NIE推進協議会奨励賞 中村百花(1-5) 13 第66回沖縄県高等学校家庭クラブ研究発表大会 優良賞 杉田陽奈子(2-7) 補助参加 山城麗菜(2-7) 14 第31回全九州高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会 67kg級 1 位 仲本亜門(2-4) 27 送別球技大会(那覇市民体育館) 2. 7 令和4年度沖縄県高等学校文化連盟活動賞 放送 玉代勢仁菜(3-6) 3. 19 第53回全九州高等学校バスケットボール春期選手権大会 男子Bパート2 位	
2023 (R5)	4. 1 第24代校長 眞栄田 義光 県立北山高等学校より着任	

4 各学年会・各部・各教科努力目標

(1) 各学年・各部の努力目標

学年 各部	目 標	具 体 的 な 努 力 事 項
1 学 年	「自分磨き→切磋琢磨→相乗効果 →とみしろ無限大∞豊見高生」 ○多様な集団の中で「共にかかわる力」と自分の行動を振り返り、改善につなげる「見詰め直す力」を育てる ○問題を発見し、「信念を持ってやり抜く力」と将来を想像し、先を見通す「ロングビジョン力」を育てる	①「一人一役」、清掃活動などを通して、学校、学年、HR に貢献できる人を増やし、支え合うチームを目指す。 ②リーダー・フォロワーシップを持つ生徒の働きかけ力を引き出し「言われなくても行動できる」集団を目指す。 ③日々の学校生活や、総探・LHR 等の取り組みを通して、自己の行動を振り返り、最後まで取り組む力を育成する。 ④保護者と連携しながら勤怠指導と支援を徹底し、課題と向き合わせることで、行動変容の機会を与える。 ⑤他者、集団の安心と安全を守れない行動に対しては指導を徹底する（その場指導、主任、指導部、管理者）。 ⑥集会、HR 活動、授業を通して、相手を尊重しながら、考えや意見を集中して丁寧に「聴く」力を育成する。
2 学 年	○基本的生活習慣の確立 ○学習規律の確立 ○早期進路決定の手立て ○規律やマナーを守り責任ある行動を促す	①遅刻・欠課・欠席の指導（日々の勤怠状況チェック・保護者との連携）及び服装容儀の指導を徹底する。 ②HR 活動や行事等で主体的に行動し、他者との関わりを大事にし、協力する心を育てる。 ③適切な携帯マナーを身につけさせる。 ④毎日、教室やロッカー等、学習環境の整理（私物の整理整頓）。 ⑤進路と連携し進路実現への意識の高揚を図る（学年集会、進路講話等）。 ⑥先を見通して計画を立てる意識づけをさせる。
3 学 年	○主体性・協調性の育成 ○自己実現に向けた進路決定 ○最終学年としての自覚を持たせ、自ら日常生活を見直し、改善する	①HR 活動や学校行事において自ら考え、協力する活動を促し自立心を育てる。 ②自分の行動に根拠を持たせることで、進路実現に向けての行動力・自主性を育成する。 ③進路指導部と連携し、生徒一人一人の進路決定につながる進路指導の充実を図る。 ④勤怠支援の強化に努め、振り返ることで自己理解を促し、社会人としての心構えを身につけさせる。
教 務 部	○本校の教育目標及び経営方針に基づく教育活動の円滑な推進	①校務運営の円滑化・効率化及び授業時数の確保に努める。 ②諸公簿の整理・保管、諸資料の整理と効率的な活用を図る。 ③生徒の実態に即した教育課程の編成を進める。 ④生徒の実態を踏まえ、学習指導要領等に準じた内規の整備に努める。 ⑤追試合格率向上を目指し、対象生徒への支援を行う（学年会と連携）。 ⑥学校組織の充実と開かれた学校づくりのため各部との連携を図る。 ⑦地域や保護者との交流を通し、互いの連携を深める。 ⑧新学習指導要領に対応した諸公簿・内規・評価等の共通理解を図る。
進 路 指 導 部	○自己の能力や適性を見つめ、将来の生き方を前向きに設計し、自己実現を図ろうとする態度を育成する ○学ぶこと、働くことの意義を理解し、積極的に情報を活用する意欲を養成する ○より高い志を持って目標を選択・決定し、それに向けて最後まで努力する姿勢を育成する	①進路決定率95%以上を達成する。 ②国公立大学5名以上の合格を目指す。 ③保護者との信頼関係を構築し、開かれた学校づくりのもと、生徒の自己実現を目指す。 ④講演会等によって目的意識の高揚と進路の早期決定を促す。 ⑤各部・各学年と連携した進路指導体制の構築を図る。 ⑥就職支援員と連携し、具体的な職業観の育成を図る。 ⑦希望進路に応じた講座・模試等を充実させ、その後の進路指導に役立てる。 ⑧進路資料室、自習室の環境整備と資料の充実を図るとともに、情報通信機器の充実を図り、生徒の進路学習室利用を促進する。
生 徒 指 導 部	○勤怠・あいさつ・言葉遣い等の基本的生活習慣の確立（「時を守り、場を清め、礼を正す」） ○きまりや規律（ルール）を守る社会性の育成（高校生としての自覚・判断・責任ある行動） ○部活動加入率の推進 ○生徒会の活性化	①勤怠指導を徹底する。 ②服装容儀指導（染髪、ピアス、スカート丈等）を徹底する。 ③飲酒・喫煙・薬物対策、アルバイト、盗難防止指導を行う。 ④携帯電話指導及びインターネット犯罪やトラブルの未然防止の取組を行う。 ⑤交通安全指導及び自転車通学指導（登録や駐輪・乗車マナー、放置）を徹底する。 ⑥いじめの未然防止に努める。 ⑦HR 担任、学年会、保護者との連携に努める。 ⑧警察や教育関係機関等と連携し、深夜徘徊等防止指導を徹底する。 ⑨生徒会の委員会活動の活性化と部活動加入率推進に努める。

情報・視聴覚部	○校内ネットワークと校務支援の充実	①校務支援システムの運用 ②セキュリティの強化 ③学校ホームページの充実 ④視聴覚・ICT機器の運用支援 ⑤1人1台端末運用支援 ⑥他部署との連携
	○図書館教育の充実	①図書委員会活動の活性化 ②図書館利用の促進（主体的に情報活用できる生徒の育成） ③図書館利用マナーの向上
環境保健部	＜環境美化＞ ○教育環境の向上を推進する ○身近な環境に目を向け、保全・創造していく生徒の実践的な態度・能力の育成	①節電・節水に向けた具体的活動を推進する。 ②自分達が毎日使用する環境・設備を大切に、破損、汚さないなど意識を高める。 ③清掃活動を通して勤労意欲を高め、自ら進んで清掃する態度・実践力を養う。 ④校内施設の整備・緑化を図る。 ⑤避難訓練や防災に対する意識の向上を図る。
	＜保健＞ ○心身の健康に関する自己管理能力の向上を目指し、健康と安全に対する自覚と実践態度の育成	①定期健康診断の全員受検と事後措置の徹底 ②保健室来室者への適切で迅速な対応と指導 ③基本的な生活習慣の確立、健康に対する意識と実践力の向上を目指す。 ④保健管理、保健指導の充実を目指す。 ⑤学校保健委員会の推進を図る。 ⑥保健室の施設設備の整備をする。
	＜教育相談＞ ○心身の健康を目指し、自発的・自主的に学校生活に向かう心の育ちと実践態度の育成 ○教育環境の整備に努める	①担任、保護者、養護教諭、その他関係職員と連携を図り、全職員の共通理解のもと、生徒が心身共に健康な学校生活を送れるよう支援する。 ②スクールカウンセラーの活用の充実を図る。 ③生徒理解のための資料を収集し、職員へ提供するとともに、カウンセリング研修等（職員向け）実施する。 ④特別支援教育の整備と実践に努める。 ⑤授業のユニバーサルデザインを推進する。

（２）各教科の努力目標

教科	目 標	具 体 的 な 努 力 事 項
国語科	○他者と協同し課題に向き合い、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する ○古典、現代文を学ぶことにより、ものの見方、感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を育てる	①課題を明確にし、見通しをもって授業に参加させ、振り返りの機会を持つことによって学びを調整する力を養う。 ②基本的語彙、ことわざ、慣用句に親しませる。 ③協働する中で互いの意見を参考にし、自分や社会と関連させながら、主体的に思考・表現する力を身につけさせる。 ④図書館利用を促進し、読書習慣を身につけさせる。 ⑤郷土の文化に興味・関心を持たせる。
地歴・公民科	○自己教育力の育成と基礎・基本の充実を図る ○社会に対する関心を高め、単元の「問い」に関して、主体的に考え、思考・表現する力を育てる ○進路指導の充実を図る（志願理由書等の作成支援・課外講座等）	①主体的な学習態度を養い、生徒の興味と関心を喚起して学習意欲を高める。 ②資料の充実と活用を図るとともに、生徒の実態を踏まえて、指導内容の適正化を図り、基本的な事項を着実に理解させる。 ③単元の「問い」を通して思考・判断力を高めるため、指導方法の工夫と授業改善を常に図り、指導と評価の一体化を図る。 ④施設・ICT機器を活用し、より実践的で社会につながる深い学びを目指す。
数学科	○数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる	①基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。また、数学的な見方や考え方の良さを認識させ、論理的に考え根拠に基づいて発言する態度を育てる。 ②生徒の実態に応じて、指導と評価の一体化を図る。 ③数学に対する学習意欲の維持、向上を図る。 ④数学的応用力の伸長を図る。
理科	○各分野において基礎・基本の指導を徹底する ○科学的自然観の育成に努める	①自然現象、事物のメカニズムを理解できる基礎力と思考力を高める。 ②生徒の実態に応じた学習内容を精選し、分かる授業・参加する授業を実践する。 ③実験観察をベースにした体験学習を行うことで、生徒の興味・関心を高めると共に、実験レポート等のまとめを充実させ、書く力や表現力を身につけさせる。 ④野外実習を通して、自然体験の充実を図り、郷土の自然への興味・関心を高める。

保健体育科		○生涯スポーツを目指し、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする ○公正・協力・責任などの態度を身につけさせる ○心身の健康や安全に関心を持たせる ○施設・設備の充実を図る	①グループ活動を通して、互いに教え合い・学び合いを行い、主体性や協調性を身につけさせる。 ②学習カードを活用し、自己の活動を客観的に振り返らせる。 ③周囲の状況に応じて集団に貢献する態度を育成する。 ④服装指導・遅刻指導を徹底する。 ⑤自分自身の体調管理や体力向上に努めさせる。 ⑥施設を大切に使用し、私物の置き忘れ防止を徹底する。
芸術科	美術	○美術の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、感性を高め、表現力と鑑賞能力を伸ばすとともに、生涯にわたり芸術を愛好する心と美術文化を尊重する態度を育てる	①主体的に取り組み、表現する喜びを体感させる。 ②表現技法や材料の特性を考え、主題にあった工夫ができるようにする。 ③目標や計画を立てて表現活動ができるようにする。 ④様々な美術に触れ、作品の良さや美しさ、作者の心情や意図を感じ取れるよう鑑賞能力を高める。
	音楽	○感性を豊かに働かせながら主体的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育成する ○他者と協働し課題に取り組み、自己の考えを広げ深めさせる ○他教科との学びの関連性に気付かせながら、音楽の多様性と社会との繋がりを感じ取らせる	①ICTを活用し、生徒の興味・関心に応じた授業の工夫を行う。 ②基礎的なリズム・音名トレーニングを行い、諸活動を行う上で必要な読譜力を身につけさせる。 ③ペア学習やリトルティーチャー制など他者と協働して取り組む課題を設定する。 ④他教科との学びを関連させた内容を取り入れ、教科横断的な指導を目指す。
	書道	○書写と書道の違いを理解させ、芸術の分野である事を、歴史を通して学ぶ ○実技・鑑賞を通して豊かな表現力を養う ○日本の文化の認識を深くする	①日本や中国の書の古典による鑑賞・臨書学習で、より広い書の表現方法を学び、創作することにより、自分自身の芸術的書表現を追求していく。 ②日常生活に生かせる硬筆書道能力を高める。
英語科		○生徒の実態に応じてわかる授業、参加する授業の工夫に努める ○指導と評価の一体化を図る ○観点別評価について理解を深め研究する ○異文化に対する興味・関心を深め、多様性を受容する態度を育てる ○学習規律の徹底を図る	①基礎基本の定着を図る。(家庭学習、単語テスト等) ②協働学習を取り入れたコミュニケーション能力の育成を促進し、指導と評価の一体化を図る。 ③生徒の進路に応じた講座を設け、指導を強化する。 ④各種検定やスピーチコンテスト等への積極的な受験・参加を促す。 ⑤国際理解教育を推進する。
家庭科		○家庭や地域の生活課題を主体的にとらえ、解決するための力(能力・知識・技能)を育てる。また、グループ活動を通して、生活の充実向上を図るための、実践的な態度を育てる	①家庭や地域の生活に関心を持ち、自ら課題を発見、解決できる力を養う。 ②思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけさせる。 ③基礎・基本を踏まえ、家庭生活の営みに関わる知識や技術を習得させる。 ④実践的・体験的な活動を通して、主体的に問題解決できる能力と態度を育成させる。 ⑤実験・実習においては、衛生面・安全面に配慮した授業実践を行う。
情報科		○情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基本的な知識と技能を習得させる ○情報を主体的に活用しようとする態度を育てる	①情報社会の課題について理解し、情報発信能力を高める。 ②情報モラルの理解やソフトウェアの活用を通して情報処理能力、表現能力を高める。 ③指導と評価の一体化を実現するため、指導方法・評価方法の工夫と授業改善を図り、生徒の学習意欲を高める。
商業科		○商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、各種検定試験の資格を取得するとともに、ビジネスに対する心構えや理念を身につけさせる	①実技科目において、アプリケーションソフト(ワード・エクセル)の利用技術の向上を図る。 ②協働学習を取り入れたコミュニケーション能力の育成を促進し、分かる授業・参加する授業づくりに努め、指導と評価の一体化を図る。 ③特色ある教育課程の研究・改善に取り組む。 ④商業系の各種検定試験の受験及び取得を奨励する。

7 教育相談

【1】ねらい

生徒一人ひとりの考え方や気持ちを大事にした教育相談を行い、生徒の自己実現のための支援をする。

【2】活動

- (1) 生徒に親しめる相談室作りに努める。
- (2) 生徒の自発的カウンセリングを基本とするが、必要に応じて呼び出しカウンセリングを行う。
- (3) HR担任・保護者との連携については、必要に応じて早期に対応し、相談の充実を図る。
- (4) カウンセリング及び生徒理解のための書籍や資料及び事例を保管し、全職員の利用に供する。
- (5) 生徒理解のために校内研修や心理検査を行う。

【3】相談要領

- (1) 面談を希望する生徒または保護者は自分で、またはホームルーム担任を通して教育相談係に予約を取り、面談をうけることができる。
- (2) 面談時間は40分以内とし、必要に応じて次回の約束をすることができる。
- (3) 電話による相談も可能とする。
- (4) 教育相談係との面談時間は原則として、午後4時～5時（月～金）とする。
- (5) スクールカウンセラーとの面談時間は月曜日の午前（月2～3回）とする。

8 生徒指導

【1】ねらい

本校の教育目標の実現を目指し、そのための生徒指導上における教育環境の整備に努める。

【2】生徒指導目標

- (1) 本校の教育目標の実現を目指し、そのための生徒指導上における教育環境の整備に努める。
- (2) 一般社会における基本的な行動様式や他者との関わりの中での自分自身の在り方・生き方を身に付けさせる。
- (3) 学校の一員としての自覚と責任を持ち、皆と心を合わせ、自己の判断と責任に基づいた行動が出来るようにさせる。
- (4) 『個性』と『わがまま』を区別し、人と人とのつながりを大切にきまりや規律（ルール）を守る社会性を身に付けさせる。
- (5) 勤勉・あいさつ・言葉遣い等の基本的生活習慣（「時を守り、場を清め、礼を正す」）を確立し、個性や創意・工夫する能力の伸長を図り、心豊かな社会の創造を目指す態度を育成する。

【3】基本方針

- (1) 生徒指導はホームルーム、教科、課外・特別活動、その他の活動を包括した学校の教育活動全体を通して、あらゆる機会・あらゆる場所において行われる。
- (2) 全職員の共通理解のもとでの足並みを揃えた指導を展開する。
- (3) 学級経営の中心は担任であるという大前提に立った上で、生徒指導においては全職員での分担・協力を行いながら推進する。
- (4) 生徒会・HR活動・部活動といった特別活動の充実を図ることを通して、生徒の自主性を育て、有意義で楽しい学校生活を送るための環境作りに努める。
- (5) 本校が抱える課題や諸問題と向き合い、学年集会やLHR・日常の活動の中で全職員協力のもと、その改善に努める。
- (6) 家庭・地域・PTA・その他の関係機関との連携を密にして指導にあたる。

【4】基本姿勢

- (1) 生徒と教師の対話を密にし、人間的触れ合いを大切にした上で、相互の信頼関係を高める。
- (2) 生徒個人の良い面や特性の発見に努め、個人指導を充実させる。
- (3) 生徒の自主・自立の精神を育てるための援助と、寛容さを持って根気強く指導にあたる。
- (4) 師弟同行の精神の下、教育愛と情熱を持って生徒に接し、わずかな改善点に対しても『ほめる指導』を行い、問題行動に対しても常に向き合い、責任を持たせ、見捨てず、妥協せず粘り強く指導を行う。
- (5) 生徒に集団生活の中における個人を正しく理解させ、集団の中での規律ある生活が営めるよう援助する。
- (6) あせらず、いそがず、たゆまず継続した指導を行う。

【5】重点目標

- (1) 校内における生活指導について
 - ① 勤怠（遅刻、欠課）に関する指導を徹底する。
 - ② 服装容儀指導を徹底する。
 - ③ 携帯電話のマナーの指導を徹底する。
 - ④ 盗難の防止指導を強化する。
 - ⑤ いじめの防止指導を強化・徹底する。
 - ⑥ 集会時の『集合』や『聞く態度』の指導を徹底する。
- (2) 校外における生活指導
 - ① 交通安全指導を強化する。
 - ② アルバイト指導を強化する。
 - ③ 夜間外出（深夜徘徊等の問題行動の防止）についての指導を強化する。
- (3) 校内外における問題行動の減少に努める。
- (4) 特別活動について
 - ① 生徒会活動の活性化を図る。
 - ② 部活動の活性化を推進する。

9 進路指導

【1】ねらい

生徒一人ひとりが将来自立した社会人・職業人として生きていくために必要な資質・能力・態度を育てる。

【2】指導目標

- (1) 自己の能力や適性を見つめ、将来の生き方を前向きに設計し、自己実現を図ろうとする態度を育成する。
- (2) 学ぶこと、働くことの意義を理解し、積極的に情報を活用する意欲を養成する。
- (3) より高い志を持って目標を選択・決定し、自己実現に向けて最後まで努力する姿勢を育成する。

【3】具体的な努力事項

- (1) 進路決定率95%以上を達成する。
- (2) 国公立大学5名以上の合格を目指す。
- (3) 保護者との信頼関係を構築し、開かれた学校づくりのもと、生徒の自己実現を目指す。
- (4) 講演会等によって目的意識の高揚と進路の早期決定を促す。
- (5) 各部・各学年と連携した進路指導体制の構築を図る。
- (6) 就職支援員と連携し、具体的な職業観の育成を図る。
- (7) 希望進路に応じた講座・模試等を充実させ、その後の進路指導に役立てる。
- (8) 進路資料室、自習室の環境整備と資料の充実を図るとともに、情報通信機器の充実を図り、生徒の進路学習室利用を促進する。

【4】今後取り組むべき課題

- (1) 易きに流れる進路選択を避け、高みを目指す生徒の育成
- (2) 「総合型選抜」「学校推薦型選抜」の受験指導の充実を図るとともに、「一般選抜」まであきらめずに取り組む姿勢の育成
- (3) キャリア教育の充実を図り、過去・現在から未来へと「線」で繋がる進路指導の実践
- (4) 「総合的な探究の時間」を活用した進路探究の機会提供
- (5) 進路関係の校内手続きの効率化
- (6) 総合型選抜に関する講座の在り方
- (7) 保護者説明会の企画
- (8) 調査書作成等に係る日程の調整等
- (9) 生徒対応時間の設定
- (10) 学校HPやスタディサプリ、Teams、メールサービスなどの活用、年間予定表の提示等
- (11) WEB出願、リモート面接に備えた設備の充実
- (12) 進路未定者の対応

【5】進路指導部による生活指導

- (1) 生徒指導基本方針に基づく指導の徹底
- (2) 進路指導部室に入室する際のマナー指導の徹底
- (3) 進路資料室・自習室使用のマナー指導の徹底
- (4) 言葉遣い・身なりの指導
- (5) 時間を守らせる指導（書類の提出期限・面談指導・ガイダンスなどの申込み締め切りなど）

【6】希望進路決定までの主なスケジュール

月	国公立大 総合・推薦入試	国公立大 一般入試	私立大・短大・専門 総合型選抜	私立大・短大・専門 学校推薦型選抜	私立大・短大・専門 一般選抜	就 職	月
4	志望校確定 前年度受験レポート入手	志望校確定 受験科目調べ 過去問分析	募集要項請求 志望校校込 志望理由書講座説明会 前年度受験レポート入手	募集要項請求 志望校校込 前年度受験レポート入手	募集要項請求 志望校校込・受験科目調べ 過去問分析	公務員模試	4
5	三者面談（希望進路確認） 総合型選抜説明会 個別受験対策講座開始	三者面談（希望進路確認）	三者面談（希望進路確認） 募集要項熟読	三者面談（希望進路確認） 募集要項熟読	三者面談（希望進路確認） 募集要項熟読	三者面談（希望進路確認） 就職希望者四者面談	5
6	国公立大校内ガイダンス 志望理由書模試受験	マーク模試① 国公立大校内ガイダンス	志願理由書模試受験 県内私大入試説明会	授業に全力 読書・新聞	読書・新聞 過去問解く 授業に全力	就職ガイダンス 公務員模試	6
7	琉大オープンキャンパス 総合型選拔出願準備 志願理由書完成 面接・プレゼン指導	琉大オープンキャンパス 記述模試①	個別受験対策講座開始	過去問対策 授業に全力 読書・新聞		7/1 求人票公開 校内就職希望者説明会 県内外合同求人説明会① 就職希望者研修	7
8	読書・新聞 総合型・学校推薦型対策	受験勉強 週 50 時間	出願準備 志願理由書完成	読書・新聞 学校推薦型選抜対策		就職希望者研修	8
9	9/1～総合型出願 一次審査 学校推薦型選抜説明会 推薦委員会 大学入学共通テスト 願書記入説明会 小論文・面接指導開始	マーク模試② 共通テスト願書記入説明会	9/1～総合型選拔出願 面接指導 一次審査	学校推薦型選抜説明会 推薦委員会 出願準備 小論文・面接指導開始		県内合同企業説明会	9
10	共通テスト出願 志願理由書完成 大学出願準備	共通テスト出願 記述模試②	二次審査	出願準備 志願理由書完成		各自求人票を元 に行動する	10
11	総合型合格発表 共通テスト有・無推薦出願 推薦試験	マーク模試③ マーク模試④	大学から義務付 けられる合格者 課題に取り組む	出願 試験	11		
12	共通テスト推薦合格発表 共通テスト直前演習開始	マーク模試⑤ 共通テスト直前演習開始		推薦合格発表	12		
1	共通テスト本番	共通テスト本番・一般出願		大学から義務付 けられる合格者 課題に取り組む	前期出願		1
2	共通テスト推薦合格発表	前期試験 前期合格発表			前期試験 前期合格発表 後期出願		2
3		後期試験 後期合格発表	後期試験 後期合格発表		3		
注意事項	○一般も受験する前提で推薦の準備を進めること。	○前年度の資料（HP 含む）を参考に今すぐ受験科目を調べること。	○日程は学校によって異なるので必ず各自で確認すること。	○日程は学校によって異なるので必ず各自で確認すること。	○日程は学校によって異なるので必ず各自で確認すること。	○3 社まで受験可	注意事項

その他

1. 校外での進学がイダンス、進学相談会等も頻繁に開催されています。
2. 「読書・新聞」は自分の志望分野に関する書籍や記事を中心に読み、それに対する自分の考えをまとめたりして下さい。

10 校時表

	平常授業(50分授業)	短縮授業(45分授業)
S H R	8:45 ~ 8:50	8:45 ~ 8:50
朝の学習	8:50 ~ 9:00	8:50 ~ 9:00
1 校 時	9:10 ~ 10:00	9:10 ~ 9:55
2 校 時	10:10 ~ 11:00	10:05 ~ 10:50
3 校 時	11:10 ~ 12:00	11:00 ~ 11:45
4 校 時	12:10 ~ 13:00	11:55 ~ 12:40
昼 食	13:00 ~ 13:45	12:40 ~ 13:25
5 校 時	13:50 ~ 14:40	13:30 ~ 14:15
6 校 時	14:50 ~ 15:40	14:25 ~ 15:10
清 掃	15:40 ~ 15:55	15:10 ~ 15:25
S H R	15:55 ~ 16:00	15:25 ~ 15:30

11 使用教科書

教科	科目名	発行者		教科書の	教科書名	使用学年 (クラス)
		番号	略称	記号・番号		
国語	現代の国語	2	東書	現国 701	新編現代の国語	1年全クラス
	言語文化	2	東書	言文 701	新編言語文化	1年全クラス
	論理国語	50	大修館	論国 706	新編 論理国語	2年全クラス
	文学国語	50	大修館	文国 705	新編 文学国語	2年全クラス
	現代文B	15	三省堂	現B 325	明解現代文B 改訂版	3年全クラス
	古典B	50	大修館	古B 342	新編古典B 改訂版	3年全クラス
	国語表現	17	教出	国表 306	国語表現 改訂版	3年特進・選抜(選択)
地歴	歴史総合	81	山川	歴総 708	現代の歴史総合 みる・読み とく・考える	1年:全クラス
	地理総合	46	帝国	地総 703	高等学校 新地理総合	2年:全クラス
	地図	46	帝国	地図 702	新詳高等地図	2年:全クラス
	日本史B	7	実教	日B 312	日本史B 新訂版	3年全クラス(選択)
	地理B	130	二宮	地B 305	新編 詳解地理B 改訂版	3年全クラス(選択)
	地図	130	二宮	地図 311	詳解現代地図	3年全クラス(選択)
公民	公共	183	第一	公共 711	高等学校 新公共	1年全クラス
	倫理	183	第一	倫理 705	高等学校 倫理	2年普通クラス(全員) 特進・選抜(文系)
	現代社会	183	第一	現社 322	高等学校 改訂版 新現代社会	2年全クラス
	政治・経済	183	第一	政経 310	高等学校 新政治・経済	3年普通クラス(全員) 特進・選抜(文系)
数学	数学Ⅰ	104	数研	数Ⅰ 714	新編 数学Ⅰ	1年全クラス
	数学Ⅱ	104	数研	数Ⅱ 711	新編 数学Ⅱ	2年全クラス
	数学Ⅲ	183	第一	数Ⅲ 328	新編 数学Ⅲ	3年特進・選抜(選択) ※理系のみ
	数学A	104	数研	数A 714	新編 数学A	1年全クラス
	数学B	104	数研	数B 712	新編 数学B	2年特進・選抜(全員)
	数学B	183	第一	数B 332	新編 数学B	3年普通クラス(選択A)

教科	科目名	発行者		教科書の	教科書名	使用学年 (クラス)
		番号	略称	記号・番号		
理科	化学基礎	183	第一	化基 712	高等学校 新化学基礎	1年全クラス(選択)
	生物基礎	183	第一	生基 711	高等学校 新生物基礎	1年全クラス(選択)
	物理基礎	183	第一	物基 710	高等学校 新物理基礎	2年全クラス(選択)
	地学基礎	183	東書	地基 705	高等学校 地学基礎	2年全クラス(選択)
	化学	7	実教	化学 704	化学	2年特進・選抜(理系)
	物理	2	東書	物理 308	改訂 物理	3年全クラス(選択)
	化学	2	東書	化学 309	改訂 新編化学	3年全クラス(選択) ※特進・選抜は文系のみ
	生物	2	東書	生物 307	スタンダード生物	3年全クラス(選択)
	地学	61	啓林館	地学 303	地学 改訂版	3年全クラス(選択)
保体	保健体育	50	大修館	保体 701	現代高等保健体育	1・2年全クラス
芸術	音楽Ⅰ	27	教芸	音Ⅰ 703	MOUSA1	1年全クラス(選択)
	音楽Ⅱ	27	教芸	音Ⅱ 703	MOUSA2	2年普通(選択)
	音楽Ⅱ	27	教芸	音Ⅱ 310	MOUSA2	3年特進・選抜(選択)
	音楽Ⅲ	27	教芸	音Ⅲ 305	Joy of Music	3年普通(選択)
	美術Ⅰ	116	日文	美Ⅰ 702	高校生の美術1	1年全クラス(選択)
	美術Ⅱ	116	日文	美Ⅱ 702	高校生の美術2	2年普通(選択)
	美術Ⅱ	116	日文	美Ⅱ 304	高校生の美術2	3年特進・選抜(選択)
	美術Ⅲ	116	日文	美Ⅲ 305	高校生の美術3	3年普通(選択)
	書道Ⅰ	17	教出	書Ⅰ 704	書道Ⅰ	1年全クラス(選択)
	書道Ⅱ	17	教出	書Ⅱ 703	書道Ⅱ	2年普通(選択)
	書道Ⅲ	17	教出	書Ⅲ 303	書道Ⅲ	3年普通(選択)
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	東書	CⅠ 702	Power On English CommunicationⅠ	1年全クラス
	英語コミュニケーションⅡ	2	東書	CⅡ 702	Power On English CommunicationⅡ	2年全クラス
	コミュニケーション英語Ⅲ	177	増進堂	コⅢ 341	NEW FLAG English CommunicationⅢ	3年全クラス
家庭	家庭総合	2	東書	家総701	家庭総合 自立・共生・創造	2年全クラス
	家庭総合	2	東書	家総307	家庭総合 自立・共生・創造	3年全クラス
情報	情報Ⅰ	2	東書	情Ⅰ 701	新編情報Ⅰ	1年全クラス
商業	簿記	7	実教	商業 709	新簿記	2年普通(選択)
	簿記	7	実教	商業 338	新簿記 新訂版	3年普通(選択)
	ビジネス基礎	7	実教	商業 701	ビジネス基礎	2年普通(選択)
	ビジネス実務	7	実教	商業 345	ビジネス実務 新訂版	3年普通(選択)
	情報処理	7	実教	商業 716	情報処理 Prologue of Computer	2年普通(選択)
	情報処理	7	実教	商業 342	情報処理 新訂版	3年全コース(選択) ※特進・選抜は文系のみ

共・専・総	教科	科 目	標準 単位	1 年			2 年			3 年				各教科 の単位 数合計	備 考	
				全 コース	普通コース		特進 コース	普通コース		特進コース						
					普通 クラス	選抜 クラス		普通 クラス	選抜クラス 文系 理系	文系	理系					
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	現代の国語	2	2										普 12-14 選 12-14 特 12-14	論理国語、文学国語は 継続履修	
		言語文化	2	2												
		論理国語	4		2	2	2	2	2	2	2	2	2			
		文学国語	4		2	2	2	2	2	2	2	2	2			
		実用国語	学設					A②	B②	B②	B②	B②	B②			
	地理 歴史	地理総合	2		2	2	2								8	
		地理探究	3					4	4	4	4	4	4	4		
		歴史総合	2	2												
		日本史探究	3													
		世界史探究	3													
	公民	公共	2	2											普 7 選 2-8 特 2-8	2年選抜クラス・特進コースの 文系は倫理を選択
		倫理	2		2	文②	文②									
		政治経済	2					3	2			2				
	数学	数学Ⅰ	3	3											普 11-13 選 13-16 特 13-16	3年選抜クラスの数学Bは 2年普通クラスから3年に 選抜クラスへ進級した 生徒のみ選択 3年選抜クラス・特進コースの 理系は数Ⅲ・数Cと理系 数学から1科目選択
		数学Ⅱ	4		4	4	4									
		数学Ⅲ	3													
		数学A	2	2												
		数学B	2			2	2	A②	B②	B②						
		数学C	2								5		5			
		理系数学	学設													
		文系数学	学設						3			3				
		数学総合	学設					2								
	理科	物理基礎	2		2	2	2								普 9 選 9-17 特 9-17	2年選抜クラス・特進コースの 理系は化学を選択 3年理科は1、2年で履修 した理科基礎の中から1 科目を選択 3年選抜クラス・特進コースの 理系の探究科目は、1、 2年で履修した理科基礎 の中から1科目を選択
		物理	4					3	3	3	3	3	3	3		
		化学基礎	2	2												
		化学	4			理④	理④									
		生物基礎	2	2												
		生物	4													
		地学基礎	2													
		地学	4													
		課題研究	学設							B②	B②	B②	B②	B②		
		物理探究	学設								2			2		
		化学探究	学設													
		生物探究	学設													
	保健 体育	体育	7～8	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	普 10-12 選 10 特 10	
		保健	2	1	1	1	1									
		生涯スポレク	学設					A②								
	芸術	音楽Ⅰ	2												普 4-6 選 2-4 特 2-4	
		音楽Ⅱ	2						B②	B②	B②	B②	B②	B②		
		音楽Ⅲ	2					A②								
		美術Ⅰ	2	2												
		美術Ⅱ	2		2				B②	B②	B②	B②	B②	B②		
		美術Ⅲ	2					A②								
		書道Ⅰ	2													
		書道Ⅱ	2						B②	B②	B②	B②	B②	B②		
		書道Ⅲ	2					A②								
	外国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3											普11-13 選11-15 特11-15	2年選抜クラス・特進コースの 文系は応用英語を選択
		英語コミュニケーションⅡ	4		4	4	4									
		英語コミュニケーションⅢ	4					4	4	4	4	4	4	4		
		論理・表現Ⅰ	2					A②	2			2				
		応用英語	学設			文②	文②									
	家庭	家庭総合	4		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	普 4-6 選 4 特 4	家庭総合は継続履修
		保育セミナー	学設					A②								
	情報	情報Ⅰ	2	2											普 2-4 選 2 特 2	情報リテラーは商業科目も含め た中から選択、重複履修不可
		情報リテラー	学設		②			A②								
専 門 教 科 ・ 学 科 ・ 科 目 に お け る 各 科 目	商業	簿記	2～6					A②						普 2-6 選 0-2 特 0-2	簿記、情報処理に関し ては同一科目の重複履 修不可	
		ビジネス基礎	2～6													
		情報処理	2～6					2	B②	B②	B②	B②	B②			
		ビジネス・コミュニケーション	2～6													
		ビジネスデザイン	学設													
共通教科・科目単位数 合計			28	26～28	28	28	24～26	26～28	26～28	26～28	26～28	26～28				
専門教科・科目単位数 合計			0	0～2	0	0	2～4	0～2	0～2	0～2	0～2	0～2				
総合的な探究の時間			3～6	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
単 位 数 小 計			29	29	29	29	29	29	29	29	29	29				
特別活動ホームルーム活動			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
単 位 数 総 合 計			30	30	30	30	30	30	30	30	30	30				

※自由選択A:実用国語、数学B、生涯スポレク、音楽Ⅲ、美術Ⅲ、書道Ⅲ、論理・表現Ⅰ、保育セミナー、情報リテラシー、簿記
※自由選択B:実用国語、課題研究(理)、音楽Ⅱ、美術Ⅱ、書道Ⅱ、情報処理、数学B(条件あり、備考欄参照)

共・専・総	教科	科 目	標準 単位	1 年	2 年			3 年				各教科 の単位 数合計	備 考		
				全 コース	普通コース		特進 コース	普通コース		特進コース					
					普通 クラス	選抜 クラス		普通 クラス	選抜クラス 文系 理系	文系	理系				
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	現代の国語	2	2									普 12-14 選 12-14 特 12-14	論理国語、文学国語は 継続履修	
		言語文化	2	2											
		論理国語	4		2	2	2	2	2	2	2	2			
		文学国語	4		2	2	2	2	2	2	2	2			
		実用国語	学設					A②	B②	B②	B②	B②			
	地理 歴史	地理総合	2		2	2	2							8	
		地理探究	3					4	4	4	4	4			
		歴史総合	2	2											
		日本史探究	3												
		世界史探究	3												
	公民	公共	2	2										普 7 選 2-8 特 2-8	2年選抜クラス・特進コースの 文系は倫理を選択
		倫理	2		2	文②	文②								
		政治経済	2					3	2		2				
	数学	数学Ⅰ	3	3										普 11-13 選 13-16 特 13-16	3年選抜クラスの数学Bは 2年普通クラスから3年に 選抜クラスへ進級した 生徒のみ選択 3年選抜クラス・特進コースの 理系は数Ⅲ・数Cと理系 数学から1科目選択
		数学Ⅱ	4		4	4	4								
		数学Ⅲ	3												
		数学A	2	2											
		数学B	2			2	2	A②	B②	B②					
		数学C	2								5	5			
		理系数学	学設												
		文系数学	学設						3		3				
		数学総合	学設					2							
	理科	物理基礎	2		2	2	2							普 9 選 9-17 特 9-17	2年選抜クラス・特進コースの 理系は化学を選択 3年理科は1、2年で履修 した理科基礎の中から1 科目を選択 3年選抜クラス・特進コースの 理系の探究科目は、1、 2年で履修した理科基礎 の中から1科目を選択
		物理	4					3	3	3	3	3			
		化学基礎	2	2											
		化学	4			理④	理④								
		生物基礎	2	2											
		生物	4												
		地学基礎	2												
		地学	4												
		課題研究	学設						B②	B②	B②	B②			
		物理探究	学設							2		2			
		化学探究	学設												
		生物探究	学設												
	保健 体育	体育	7～8	3	3	3	3	2	2	2	2	2	普 10-12 選 10 特 10		
		保健	2	1	1	1	1								
		生涯スポレク	学設					A②							
	芸術	音楽Ⅰ	2							B②	B②	B②	B②	普 4-6 選 2-4 特 2-4	
		音楽Ⅱ	2												
		音楽Ⅲ	2					A②							
		美術Ⅰ	2	2											
		美術Ⅱ	2		2				B②	B②	B②	B②			
		美術Ⅲ	2					A②							
		書道Ⅰ	2												
		書道Ⅱ	2						B②	B②	B②	B②			
		書道Ⅲ	2					A②							
	外国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3									普11-13 選11-15 特11-15	2年選抜クラス・特進コースの 文系は応用英語を選択	
		英語コミュニケーションⅡ	4		4	4	4								
		英語コミュニケーションⅢ	4					4	4	4	4	4			
		論理・表現Ⅰ	2					A②	2		2				
		応用英語	学設			文②	文②								
	家庭	家庭総合	4		2	2	2	2	2	2	2	2	普 4-6 選 4 特 4	家庭総合は継続履修	
		保育セミナー	学設					A②							
	情報	情報Ⅰ	2	2									普 2-4 選 2 特 2	情報リテラーは商業科目も含め た中から選択、重複履修不可	
		情報リテラー	学設		②			A②							
専 門 学 科 に お い て 開 設 さ れ る 各 教 科 ・ 科 目	商業	簿記	2～6					A②					普 2-6 選 0-2 特 0-2	簿記、情報処理に関し ては同一科目の重複履 修不可	
		ビジネス基礎	2～6												
		情報処理	2～6					2	B②	B②	B②	B②			
		ビジネス・コミュニケーション	2～6												
		ビジネスデザイン	学設												
共通教科・科目単位数 合計				28	26～28	28	28	24～26	26～28	26～28	26～28	26～28			
専門教科・科目単位数 合計				0	0～2	0	0	2～4	0～2	0～2	0～2	0～2			
総合的な探究の時間				3～6	1	1			1						
単 位 数 小 計				29		29			29						
特別活動				1	1	1			1						
単 位 数 総 合 計				30		30			30						

※自由選択A:実用国語、数学B、生涯スポレク、音楽Ⅲ、美術Ⅲ、書道Ⅲ、論理・表現Ⅰ、保育セミナー、情報リテラシー、簿記
 ※自由選択B:実用国語、課題研究(理)、音楽Ⅱ、美術Ⅱ、書道Ⅱ、情報処理、数学B(条件あり、備考欄参照)

共・専・総	教科	科 目	標準 単位	1 年			2 年			3 年				各教科 の単位 数合計	備 考
				全 コース	普通コース		特進 コース	普通コース		特進コース					
					普通 クラス	選抜 クラス		普通 クラス	選抜クラス 文系 理系	文系	理系				
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	国語総合	4	4										普 12 選 12-14 特 12-14	
		現代文B	4		2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		古典B	4		2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		国語表現	3						B②	B②	B②	B②	B②		
	地理 歴史	世界史B	4	4										8	
		日本史B	4					4	4	4	4	4	4		
		地理B	4												
	公民	現代社会	2		2	2	2							普 6 選 2-8 特 2-8	2年選抜クラス・特進コースの 文系は倫理を選択。
		倫理	2		2	文②	文②								
		政治・経済	2					2	2		2				
		応用現代社会	学設						B②	B②	B②	B②	B②		
	数学	数学Ⅰ	3	3										普 12-14 選 14-16 特 14-16	3年選抜クラスの数学Bは 2年普通クラスから3年に 選抜クラスへ進級した 生徒のみ選択。
		数学Ⅱ	4		4	4	4								
		数学Ⅲ	5												
		数学A	2	2							5		5		
		数学B	2			2	2	A②	B②	B②					
		理系数学	学設												
		文系数学	学設						3		3				
		数学総合	学設					3							
	理科	物理基礎	2											普 9 選 9-17 特 9-17	2年選抜クラス・特進コースの 理系は化学を選択。
		物理	4												
		化学基礎	2	2	2		2	2							
		化学	4			理④	理④								
		生物基礎	2	2				3	3	3	3	3	3		
		生物	4												
		地学基礎	2												
		地学	4												
		課題研究	1						B②	B②	B②	B②	B②		
		物理探究	学設												
	化学探究	学設								2		2			
	生物探究	学設													
	保健 体育	体育	7～8	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	普 10-12 選 10 特 10	
		保健	2	1	1	1	1								
		生涯スポレク	学設					A②							
	芸術	音楽Ⅰ	2											普 4-6 選 2-4 特 2-4	芸術Ⅱ、Ⅲは1、2年で 履修した同一科目を 選択。
		音楽Ⅱ	2						B②	B②	B②	B②	B②		
		音楽Ⅲ	2					A②							
		美術Ⅰ	2	2											
		美術Ⅱ	2		2				B②	B②	B②	B②	B②		
		美術Ⅲ	2					A②							
		書道Ⅰ	2												
		書道Ⅱ	2												
	書道Ⅲ	2					A②								
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3										普 11-13 選 11-15 特 11-15	2年選抜クラス・特進コースの 文系は基礎英語を 選択。
		コミュニケーション英語Ⅱ	4		4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		コミュニケーション英語Ⅲ	4					4	4	4	4	4	4		
		基礎英語	学設			文②	文②	A②							
	家庭	応用英語	学設						2		2			普 4-6 選 4 特 4	
家庭総合		4		2	2	2	2	2	2	2	2	2			
情報	保育セミナー	学設					A②						2		
	社会と情報	2	2												
専 門 学 科 に お い て 開 設 さ れ る 各 教 科 ・ 科 目	商業	簿記	2～6					A②					普 2-6 選 0-2 特 0-2	簿記、情報処理に関して は同一科目の重複履修 はできない。	
		ビジネス基礎	2～6		2										
		情報処理	2～6						B②	B②	B②	B②			B②
		ビジネス実務	2～6					2							
		ビジネスデザイン	学設												
共通教科・科目単位数 合計			28	26	28	28	24～26	26～28	26～28	26～28	26～28	26～28			
専門教科・科目単位数 合計			0	2	0	0	2～4	0～2	0～2	0～2	0～2	0～2			
総合的な探究の時間 単位数 小計			3～6	1	1				1						
特別活動 ホームルーム活動			1	1	1				1						
単位数 総合計			30	30	30				30						

※2年選抜クラス・特進コースでは、理系は化学4単位を選択。文系は倫理2単位と基礎英語2単位を選択。
 ※自由選択A：普通クラスの選択科目。数学B、生涯スポレク、音楽Ⅲ、美術Ⅲ、書道Ⅲ、基礎英語、保育セミナー、
 簿記の中から1科目を選択。ただし、商業科目での重複履修は不可。
 ※自由選択B：選抜クラス・特進コースの選択科目。国語表現、応用現代社会、数学B、課題研究、音楽Ⅱ、美術Ⅱ、情
 報の中から1科目選択。ただし数学Bは条件あり。(備考欄参照)

1 3 生徒実態調査

(1) 各HR在籍数(5/1現在)

学年	1年			2年			3年		
性別	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
1組	24	15	39	24	13	37	19	18	37
2組	19	21	40	21	19	40	24	16	40
3組	22	18	40	19	19	38	23	16	39
4組	20	20	40	23	17	40	24	14	38
5組	21	19	40	28	12	40	23	17	40
6組	23	17	40	25	14	39	23	16	39
7組	20	20	40	25	14	39	22	17	39
8組	21	19	40	22	16	38	18	22	40
計	170	149	319	187	124	311	176	136	312

総計		
男	女	計
533	409	942

(2) 現住所別生徒数

学年	1年			2年			3年			総計		
性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
豊見城市	55	28	83	46	32	78	60	31	91	161	91	252
那覇市	82	60	142	93	44	137	81	55	136	256	159	415
南風原町	5	23	28	15	9	24	5	18	23	25	50	75
その他	28	38	66	33	39	72	30	32	62	91	109	200
総計	170	149	319	187	124	311	176	136	312	533	409	942

(3) 通学方法別生徒数

学年	1年			2年			3年			総計		
性別	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
徒歩	25	41	66	21	29	50	14	36	50	60	106	166
バス	25	49	74	6	26	32	6	37	43	37	112	149
自転車	89	3	92	122	3	125	113	0	113	324	6	330
タクシー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保護者の車	33	53	86	30	64	94	36	62	98	99	179	278
その他	0	1	1	8	2	10	5	3	8	13	6	19
計	172	147	319	187	124	311	174	138	312	533	409	942

※調査期間中の欠席者数はその他に含まれる

(4) 出身中学校別生徒数

学年		1年			2年			3年			総計		
番号	学校名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	真志喜							1		1	1		1
2	宜野湾							1		1	1		1
3	西原							1		1	1		1
4	石田	2		2							2		2
5	松城		2	2								2	2
6	那覇	3		3	1	3	4		2	2	4	5	9
7	上山	3	5	8	5		5	4		4	12	5	17
8	神原	4	3	7	1	1	2	9	2	11	14	6	20
9	寄宮	13	13	26	19	5	24	11	9	20	43	27	70
10	古蔵	8	12	20	9	8	17	9	11	20	26	31	57
11	小禄	15	7	22	14	3	17	18	10	28	47	20	67
12	鏡原	19	10	29	17	15	32	12	7	19	48	32	80
13	仲井真	4	7	11	23	8	31	9	13	22	36	28	64
14	金城	11	1	12	7	2	9	8	3	11	26	6	32
15	豊見城	19	8	27	19	13	32	26	4	30	64	25	89
16	長嶺	18	9	27	13	13	26	17	16	33	48	38	86
17	伊良波	19	10	29	13	4	17	16	10	26	48	24	72
18	兼城					2	2		1	1		3	3
19	糸満		2	2	1		1	1		1	2	2	4
20	三和					1	1					1	1
21	西崎	1		1	2	2	4	2	3	5	5	5	10
22	玉城	4	5	9	8	7	15	3	3	6	15	15	30
23	佐敷		1	1					1	1		2	2
24	大里	4	9	13	4	4	8	1	3	4	9	16	25
25	東風平	11	13	24	6	12	18	6	11	17	23	36	59
26	具志頭	2	6	8	2	3	5	6	7	13	10	16	26
27	与那原	1		1	3	4	7		1	1	4	5	9
28	南風原		7	7	2	1	3		5	5	2	13	15
29	南星	5	15	20	13	9	22	5	12	17	23	36	59
30	知念	2		2							2		2
31	久志		1	1								1	1
本島合計		168	146	314	182	120	302	166	134	300	516	400	916
32	伊江	1		1				3		3	4		4
33	伊平屋					1	1					1	1
34	伊是名		1	1	1		1	1		1	2	1	3
35	北大東							1		1	1		1
36	南大東	1	1	2		1	1				1	2	3
37	久高				1		1	1		1	2		2
38	座間味				1		1				1		1
39	平良				2		2	1		1	3		3
40	多良間					1	1	1	1	2	1	2	3
41	波照間					1	1					1	1
42	久部良								1	1		1	1
離島合計		2	2	4	5	4	9	8	2	10	15	8	23
43	桜井東							1		1	1		1
44	金久							1		1	1		1
45	比田勝		1	1								1	1
県外合計			1	1				2		2	2	1	3
総計		170	149	319	187	124	311	176	136	312	533	409	942

14 令和5年度 学校保健計画

月		4	5	6	7.8	9	10	11	12	1	2	3	
月の重点		健康診断を受け健康状況を把握しよう	疾病の予防と早期治療に努めよう	むし歯の予防と早期治療に努めよう 食中毒予防	夏を健康に過ごそう	夏休み後のリズムを回復しよう	スポーツと健康 目の大切さを知り病気を予防しよう	正しい姿勢をしよう	寒さに負けない気力と体力を作ろう	風邪・インフルエンザの予防に努めよう 3年献血講話・献血	生活習慣病について	1年間の健康生活の反省	
学校保健関係行事		保健調査 定期健康診断 避難訓練 新入生歓迎球技大会 不審者・犯罪防止講話	定期健康診断 喫煙防止強化週間	歯と口の健康週間	救急法講習会 学校保健委員会 リーダー研修 交通安全講話 ★薬物乱用防止教室	結核予防週間 フィールドワーク	目の愛護週間 喫煙防止強化週間 体育祭	いい歯の日 1年生野外実習 学校保健委員会 防災避難訓練	★性、エイズ特設授業、芸術鑑賞会 修学旅行(2年)	送別球技大会 学校保健委員会	ダンス発表会	学校保健計画の評価と反省、新年度の計画	
保健管理	対人管理	健康相談（新入生との相談）保健だより、保健関係調査、健康診断の計画と実施、★教育相談週間、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、日本スポーツ振興センター加入手続き、定期健康診断の治療勧告★心理検査、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、学校保健概要まとめ、定期健康診断の治療勧告、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、疾病治療指導の継続、保健調査票の整理、★夏休み明け健康調査、教育相談週間、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、疾病治療指導の継続、★心の健康チェックシート、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、視力健康相談、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、歯科健康相談、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、★冬期休暇中の健康状態及び治療状況調べ、★心の健康チェックアンケート、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、年度末結果処理、カウンセリング通信	健康相談、保健だより、諸表簿の整理、新年度健康診断準備、カウンセリング通信	
	対物管理	衛生備品及び保健室の整備、水道水検査、机・椅子の整備、全体清掃	衛生備品及び保健室の整備、水道水・プールの水質検査	衛生備品及び保健室の整備、水道水・プールの検査	衛生備品及び保健室の整備、水道水・プールの検査、室内環境検査、グリーンアップル教室整備週間	衛生備品及び保健室の整備、水道水・プールの検査、全体清掃	衛生備品及び保健室の整備、水道水・プールの検査	衛生備品及び保健室の整備、水道水検査、騒音検査	衛生備品及び保健室の整備、水道水検査、教室整備週間	衛生備品及び保健室の整備、水道水検査、照度検査	衛生備品及び保健室の整備、水道水検査、全体清掃、3年教室整備週間	衛生備品及び保健室の整備、水道水検査、グリーンアップル教室整備週間	
保健教育	科目保健	関連教科	私たちの健康のすがた、健康のとらえ方 ★思春期と健康、性意識と性行動の選択	さまざまな保健活動や対策、生活習慣病と日常生活行動 健康生活とその予防、食事と健康、運動・休養と健康、★がん教育	喫煙と健康、飲酒と健康 ★妊娠・出産と結婚	心肺蘇生法、日常的な応急手当 ★家族計画と人工妊娠中絶、結婚生活と健康	薬物乱用と健康、医薬品と健康 加齢と健康、高齢者のための社会的な取り組み、保険制度と保健サービスの活用	★健康に関わる意思決定・行動選択、意志決定・行動選択に必要なもの 医療制度と医療費、大気汚染と健康、水質汚濁と健康	欲求と適応規制、心身の相関とストレス、★心の健康のために	★感染症とその予防、エイズとその予防 土壌汚染と健康、健康被害の防止と環境対策、環境汚染を防ぐ取り組み	★ストレスへの対処、自己実現、欲求と適応 環境衛生活動のしくみと働き、食品衛生活動のしくみと働き、ゴミ処理と上下水道の整備	交通事故の現状と要因、交通社会における運転者の資質と責任 食品と環境の保健と私たち、食品の安全を守る活動	安全な交通社会づくり、応急手当の意義とその基本 労働災害・職業病と健康、健康的な職業生活
			生物基礎（生物の共通性、細胞と分子）倫理（青年期としての在り方生き方）家庭総合（★自分らしい人生をつくる）化学基礎（化学と人間生活）現代社会（地球環境問題）	生物基礎（細胞とエネルギー代謝）家庭総合（子どもと共に育つ）	生物基礎（遺伝子とDNA）倫理（★青年期の人間としての在り方、生き方）家庭総合（子どもと共に育つ）	生物基礎（遺伝子の働き）家庭総合（子どもと共に育つ）	生物基礎（生物の多様性）家庭総合（楽しく食べる、栄養と食事）	生物基礎（生物の進化）政治経済（環境保全と地球環境問題）家庭総合（楽しく食べる、栄養と食事）	生物基礎（生態系の保全）家庭総合（楽しく食べる、栄養と食事）化学（有機化合物と人間生活）	生物基礎（生物の体内環境、生殖と発生）家庭総合（楽しく食べる、栄養と食事）現代社会（環境保全と循環型社会）	生物基礎（体内環境を維持するしくみ）家庭総合（高齢化社会）	生物基礎（動物の反応と行動）家庭総合（高齢化社会）	生物基礎（生体防御）
			保健調査、進路希望調査	SDGs学習	職業ガイダンス			豊翔塾	交通安全講話	SDGs探求発表 献血講話		卒業生講話	
	特別活動	H R活動	健康診断の事前・事後指導、緊急時の連絡体制確認、感染症予防について	生活リズムを考える（栄養・運動・睡眠） 自己の健康状態の把握、感染症予防について	むし歯の治療・歯肉の病気と健康について、感染症予防について	★休暇中の健康生活について、★薬物乱用防止について、感染症予防について	飲酒と禁煙について スポーツ時の安全・事故予防について、感染症予防について	スポーツ時の安全・事故予防について 結膜炎予防について、感染症予防について	口腔内の健康について、感染症予防について	★性、エイズ特設授業の取り組み ★冬期休業中の保健安全の心得、感染症予防について	感染症予防について	自己の生活環境の管理（栄養、運動、睡眠）、感染症予防について	健康生活の自己評価、感染症予防について
生徒会			保健委員会、美化委員会、保健だよりの発行、健康診断補助	保健委員会、美化委員会、保健だよりの発行	保健委員会、美化委員会、保健だよりの発行、生徒総会	保健委員会、美化委員会、保健だよりの発行	保健委員会、美化委員会、保健だよりの発行	保健委員会、美化委員会、保健だよりの発行、体育祭の取り組み	保健委員会、美化委員会、保健だよりの発行、歯の川柳募集展示	保健委員会、美化委員会、保健だよりの発行、★エイズに関するポスター作成展示			
個別日常指導		健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	健康観察 健康相談	
組織活動			PTA 総会 授業参観		学級 PTA 学校保健委員会	PTA 美化作業		学校保健委員会	学級 PTA		学校保健委員会	次年度引継ぎ	

令和5年度 学校安全計画

項目 月			4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3
月の重点			通学時の安全確認	学校生活での安全	スポーツと安全	交通安全 防犯教室	交通安全	学校行事と安全	防災	交通安全	予防と安全	安全な生活	1年間の学校安全反省
学校行事			始業式・入学式、定期健康診断、1年校内研修・避難訓練、自転車安全講習、新入生歓迎球技大会、サイバー犯罪防止講話	全体清掃 平和体験学習 歯科検診 PTA 総会	新体力テスト 生徒総会	クリーンカップ、教室整備週間、交通安全講話、救急法講習会、リーダー研修、薬物乱用防止講話、始業式	全体清掃 フィールドワーク 体育祭練習	体育祭 全体清掃	防災避難訓練 1年理科野外実習	芸術鑑賞会 2年修学旅行 性・エイズ講話 教室整備週間 クリーンカップ	始業式 3年校内講話・献血 送別球技大会	3学年集会（進学・就職準備休暇に向けて）	卒業式 クリーンカップ 教室整備週間 修了式
安全 教育	教科		球技用具、グラウンド、体育館の点検・整備	水泳時の安全 実験・実習の安全（薬品の安全な取扱い）	新体力テスト時の安全 水泳時の安全	水泳時の安全 体育施設の安全点検	体育施設の安全点検	体育球技用具の安全指導 体育祭の安全指導	体育施設の安全点検	実験、実習に伴う安全点検	生活環境の安全 体育施設の安全点検	実験・実習に伴う教科の器具の点検・整備	実験室の点検 安全学習の評価
	総合的な学習					クリーンカップ			防災避難訓練 薬物乱用防止講話	クリーンカップ			クリーンカップ
	1年 H R		登下校時・自転車通学者の交通安全、防災避難体制の確立 宿泊学習時の安全	通学時の交通マナー	新体力テスト時の安全 部活動と安全な生活	交通安全講話 夏期休暇中の安全心得 （水泳・キャンプ・夜間外出）	交通事故防止 フィールドワーク 時の安全 体育祭練習時の安全	体育祭時の安全 体育祭練習時の安全	防災避難訓練 理科野外実習時の安全	性・エイズ講話 冬季休暇中の安全心得	送別球技大会時の安全 免許・車両所持調査	冬の交通安全	春季休暇中の安全心得
	2年 H R		登下校時・自転車通学者の交通安全、防災避難体制の確立	通学時の交通マナー 免許所持調査	新体力テスト時の安全 部活動と安全な生活	交通安全講話、夏期休暇中の安全心得（水泳・キャンプ・夜間外出）	交通事故防止 フィールドワーク 時の安全 体育祭練習時の安全	体育祭時の安全 体育祭練習時の安全	防災避難訓練 インターシップ時の安全	性・エイズ講話 修学旅行中の安全 冬季休暇中の安全心得	送別球技大会時の安全 免許・車両所持調査	冬の交通安全	修学旅行時の安全 春季休暇中の安全心得
	3年 H R		登下校時・自転車通学者の交通安全、防災避難体制の確立	通学時の交通マナー 免許所持調査	新体力テスト時の安全 部活動と安全な生活	交通安全講話 夏期休暇中の安全心得 （水泳・キャンプ・夜間外出）	交通事故防止 フィールドワーク 時の安全 体育祭練習時の安全	体育祭時の安全 体育祭練習時の安全	防災避難訓練	性・エイズ講話 冬季休暇中の安全心得 交通安全講話	送別球技大会時の安全 免許・車両所持調査	冬の交通安全 進学・就職準備休暇中の安全心得	
	生徒会活動		保健委員会 美化委員会	保健委員会 美化委員会	保健委員会 美化委員会	保健委員会、美化委員会、リーダー研修	保健委員会 美化委員会	保健委員会 美化委員会	保健委員会 美化委員会	保健委員会 美化委員会	保健委員会 美化委員会	保健委員会 美化委員会	保健委員会 美化委員会
安全 管理	対人管理	学校生活	通学方法の把握 防災避難訓練体制	授業中の安全指導（実験・実技・実習の安全強化）、救急体制の確認	部活動時の安全確認、生徒引率の安全確認	校内外での安全指導	授業中の安全確認	スポーツと安全確認、体力づくりと食生活指導	防災避難訓練 健康安全生活指導	通学路の安全確認 体力づくりと食生活指導	健康安全生活指導	通学路の安全確認 教室内の換気	本年度の安全管理の反省と評価 次年度年間計画
	対物管理	学校環境	飲料水の水質検査	飲料水・プールの水質検査	飲料水・プールの水質検査	飲料水・プールの水質検査、室内環境衛生検査、ダニ・カビ検査 防火施設の点検	飲料水・プールの水質検査	飲料水・プールの水質検査 騒音環境検査	飲料水の水質検査	飲料水の水質検査	飲料水の水質検査 照度検査	飲料水の水質検査 防火施設の点検	飲料水の水質検査
安全確保に関する点検			学校環境設備の安全点検・整備	学校環境設備の安全点検・整備	学校環境設備の安全点検・整備	学校環境設備の安全点検・整備	学校環境設備の安全点検・整備	学校環境設備の安全点検・整備	学校環境設備の安全点検・整備、防災避難訓練の確認	学校環境設備の安全点検・整備	学校環境設備の安全点検・整備	学校環境設備の安全点検・整備	学校環境設備の安全点検・整備、生徒用の机・椅子の点検
課外指導 個別指導			校外巡視指導 自転車通学許可・点検・指導	校外巡視指導	健康診断と健康安全生活指導 校外巡視指導	校外巡視指導 夏季休暇中の諸注意	校外巡視指導	校外巡視指導	校外巡視指導	校外巡視指導 冬期休暇中の諸注意	校外巡視指導	校外巡視指導	校外巡視指導 春季休暇中の諸注意
PTA等 組織活動				PTA 総会 授業参観	あいさつ運動	授業参観	あいさつ運動 PTA 美化作業	授業参観	あいさつ運動	授業参観	あいさつ運動		

16 防災計画

県立豊見城高校

1 目的

消防法第8条の規定に基づき、本校における防火・防災管理の徹底を図り、災害防止に万全を期すとともに、災害による被害を軽減し、生徒を速やかに避難場所に誘導し、安全を確保する。

2 防災の日の設定

9月1日を防災の日と定め、防災意識の高揚及び防災知識の普及・啓発をはかり、災害に対する備えを充実させる。

3 火災予防

火災の発生を防止するため、学校長は次のものに定期的に検査させるようにする。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| (1) 消防用設備等の定期点検（年2回） | 琉球防災センター |
| (2) 火を取り扱う設備器具（毎月1回） | 防火管理者・各部署の火気取締責任者 |
| (3) 電気設備・器具（毎月1回） | （株）タクデン |

4 防火のための遵守事項

- (1) 外出するときや終業時には校舎内の電灯を消し、火の元は必ず点検を行う。ガス器具は元栓を締める。
- (2) 火気の使用中はその場を離れない。
- (3) 廊下・階段等に避難の妨げとなるような設備をしたり、物品を置かない。
- (4) 重要文書を入れる戸棚は必ず指定しておき、「非常持出」と朱書しておく。
- (5) 休日・祝祭日及び休業日、又は夜間に緊急事態が発生した場合、電話等による連絡を受けて本校職員は速やかに出勤し、その事態に対処する。（連絡方法別紙）

5 防火及び避難訓練

(1) 火災

- ① 火災を発見した者は、速やかに最寄りの職員・生徒に知らせるとともに、防火管理者に報告する。
- ② 通報連絡係は放送設備で全職員・生徒に火災の発生を連絡するとともに、豊見城市消防（119）に通報する。また、職員は避難経路に沿って生徒を安全な場所（運動場）へ誘導する。
- ③ 火災発生 of 初期段階においては、消火係は消火器、屋内消火栓で初期の消火活動に当たるとともに、初期消火失敗後は、避難経路途中で逃げ遅れたものがないかどうか確認しながら、自らも避難する。消防隊到着後は消防隊の指示に従う。

(2) 避難

消防署と連携し、避難及び消火訓練を年1回実施することを原則とし、全職員・生徒参加のもとに防火組織の任務を遂行する。

6 津波対策

- (1) 津波に対する心得を平素から指導し、津波警報が出た時は次の対策をとる。

- ① 強い地震を感じたら、すぐ川岸、海辺から離れる。
- ② 速やかに高台（豊見城市ニュータウン第2公園）に避難する。

- ③ ラジオ、テレビなどを通して正確な情報の入手に努める。
- ④ 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない。

7 地震対策

- (1) 地震発生時の基本行動を平素から確認しておく。
 - ① 身体の保護（机の下に潜り、身の安全を確保する。）
 - ② 避難路の確保（窓や出入り口を開ける。）
 - ③ 危険物の除去（電気、ガス、薬品等の危険なものを処理する。）
 - ④ 避難（安全な場所へ避難させる）
 - ⑤ 人員の確認（HR名簿により人員の確認をする）
- (2) 教室、体育館、校庭から避難場所までの経路について平素から指導しておく。

① 教室

- ア まず、机の下に潜り、身を守る。
- イ 照明器具の落下、窓ガラスの破片に注意する。
- ウ 慌てて外に飛び出さず、静かに指示に従う。
- エ 火気があれば電源・元栓を止める。

② 廊下・階段

- ア 落下物に注意する。
- イ 頭を守り、その場にしゃがみ込む。
- ウ 窓ガラスから離れる。
- エ 近くの教室の机の下に潜り、身を守る。

③ 体育館

- ア 落下物に注意する。
- イ 中央部に集まってしゃがみ込み、職員の指示に従う。

④ 運動場

- ア 建物、塀、バックネット、ゴール等から離れる。
- イ 中央部に集まってしゃがみ込み、職員の指示に従う。

(3) 施設・設備の点検整備

- ① 地震によるブロック塀、壁等のひび等、危険場所の発見及び施設の点検整備を行う。
- ② 登校、下校時において落下物、危険物、ブロック塀、壁、崖下等の危険場所に近づかない。

8 洪水対策

- (1) 洪水に対する心得を平素から指導し、洪水警報が出た時は次の対策をとる。
 - ① 運動場や屋外にいる生徒を速やかに教室内に入れ、できるだけ上階へ避難させる。
 - ② 豊見城消防本部と連携をとり、登下校時の安全を確保する。

9 その他

- (1) 常時次の資料を備え置くものとする。
 - ① 消防計画書 ② 建物の詳細図面 ③ 消防用設備維持台帳
 - ④ その他必要書類